

(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

鹿児島市
教育委員会

小学校5年
外国語科



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【思考力, 判断力, 表現力等】

日本の文化について、自分の考えや気持ちを伝えるために必要な表現の工夫を考え、相手に自分の考えや気持ちが伝わるよう工夫しながら紹介することができる。

【学びに向かう力, 人間性等】

日本の文化について、自分の考えや気持ちを伝えるために必要な表現の工夫を考え、相手に自分の考えや気持ちが伝わるよう工夫しながら紹介しようとする。

○ 工夫した点

○ Small Talkであえて情報量の少ない発表を示し、児童に考えさせることで解決したい課題を決定できるようにする。

○ これまでに学習した表現で使いそうなものを確認し、使用することで、学習内容の定着を図る。

○ 今までの授業では…

【学習課題】

ALTに日本の文化を伝えよう。

先生：日本の文化を紹介するために、
We have ~. You can ~.
という表現を使いましょう。

児童A：We have New Year's Day
in winter.

先生：アイコンタクトやジェスチャーを
使って大きな声で発表しましょう。

学習者主体で授業をデザインすると!

【学習課題】

ALTに日本のよさが伝わる紹介にするために、どのような工夫ができるだろう。

教師がSmall Talkであえて情報量の少ない発表をする

先生：イースターの紹介を聞いてもっと知りたいと思ったことはありませんか。

児童A：いつあるのかな。

児童B：どうして卵に色をぬったりうさぎを飾ったりするのかな。

児童C：delicious foodって例えばどんな食べ物だろう。

先生：ALTの先生の気持ちになって考えると伝えたい日本のよさがみつきりそうだね。

児童A：でも、ALTに伝わるように紹介しないといけないよ。

先生：ALTに日本のよさが伝わる紹介にするために、これまで学習した表現で、どのようなものが使いそうですか。

児童C：写真を見せるときに、This is ~. が使いそうだな。

児童D：We have のあとに行事を入れるとよさそう。

先生：その行事はいつあるのかな。

児童E：冬、winter!

子どもが解決の方法を見通す

先生：ロイロノートの「資料箱」に音読練習用の動画があります。教室に置いてある本で調べても良いです。先生に質問したり、友達と練習したりしても良いですよ。

子どもが課題解決まで試行錯誤を繰り返す、協働する

先生：友達や先生に発表を見てもらってアドバイスをもらいましょう。

児童A：もっとゆっくりはっきり話すといいかもね。

児童B：笑顔がいいね。内容をもっとくわしく話したらどうかな。

先生：今日はどんなことができるようになりましたか。次に生かしてみたいことやがんばりたいことはどんなことですか。

児童A：発表の最初にHelloって笑顔で言おうかな。

児童B：前よりすらすら言えるようになったよ。

児童C：Dさんは発表の最後に歌を紹介していてすごいな。

子どもが自らの学びを振り返り、次に生かす

【全体】
全体共有

【個、ペア、
グループ】
試行錯誤や協働
の選択

【ペア、グループ】
ペアやグループで
発表

【全体】
振り返り

(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

日置市
教育委員会

小学校6年
社会科



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【知識及び技能】

政策の内容や計画から実施までの過程，法令や予算との関わりなどについて，各種の資料で調べ，必要な情報を集め，読み取り，政治の取組を理解することができる。

【思考力，判断力，表現力等】

政策の内容や計画から実施までの過程，法令や予算との関わりなどに着目し て問いを見だし，政治の取組について考え表現することができる。

○ 工夫した点

- 「日置市子ども議会」を教材として取り入れた。
- 子どもたち一人一人が問題意識をもち，生き生きと活動するために，子どもたちにとって①身近なことであること，②自分事としてとらえることができること，③考えを交流したり深めたりする活動を取り入れること，の3つの視点を取り入れた。

今までの授業では…

【学習課題】

児童センターがつくられるまでには，どのような人たちの，どのようなはたらきがあったのでしょうか。

- 先 生：前単元では，国の政治の仕組みと選挙について学習しました。今単元では国民の願いを実現するための政治のはたらきについて学習します。今日は，児童センターができるまでの過程を確認し，学習課題を立てましょう。児童センターとはどのようなところですか。
- 児童A：赤ちゃんや子どもが遊ぶところ。子どもを連れて親が来るところ。
- 先 生：児童センターがつくられるまでには，どのような人たちの，どのような働きがあったのか調べていきましょう。

学習者主体で授業をデザインすると！

【学習課題】

日置市の一員である私たちにできることは何だろう。考え，提言書をつくろう。

子供が自ら問いを発見する

先 生：この写真を見て，何か気付いたことはありませ

児童A：小中学生が議会に参加している。

児童B：議員さんのまねをしているのかな？

先 生：まねだけなのかな？実は・・・

児童C：えー？自分たちがつくった意見を日置市が取り組んでくれるんだね。すごいね。

児童D：私たちが考えたことが日置市に生かされるんだ。

先 生：皆さんだったらどんなことを議会で意見しますか？自分でやってみたいこと，実現できたらいいなということを考え，提言書をつくってみよう。

子供が解決の方法を見通す



【昨年度の日置市子ども議会】

先 生：まずは，私たちの身近なところから，課題や問題点があるかないか調べ，出し合い，解決策を考えてみよう。

子供が課題解決まで試行錯誤を繰り返す，協働する



児童A：私は，この伊作田小の人数が少ないので，友だちを増やすための方法を考えてみよう。

先 生：いろいろな方法があると思うけれど，実現できそうなものを選んで，日置市がなるほどと思う解決方法まで調べて取り組んでみよう。

児童B：私は，この伊作田地区は，高齢者が多いので高齢者が住みやすい町づくりを考えてみたい。

先 生：なぜ，そう考えたのかな？住みにくいところはどこかな？どうすれば解決できるかな？身近なことから考えてみよう。

児童C：何か，子どもや大人も楽しんでできるものがあると日置市に住みたくなるかもね。

児童D：そうだね。楽しく，ワクワクするものを考えよう。

先 生：一人一人がつくった提言書について，質問や意見を出し合ってみよう。そこから学んだことや考えたことをまとめてみよう。

子供が自らの学びを振り返り，次に生かす



(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

いちき串木野市
教育委員会

小学校3年
理科



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【思考力、判断力、表現力等】

鏡ではね返した日光を日かげの地面にはわせることで日光の進み方を観察し、はね返した日光が当たった部分の明るさを確かめることができる。

【学びに向かう力、人間性等】

反射させた日光を的に当てる活動を十分にを行い、どのように光は進むのかに着目し、話し合うことで日光の直進性と明るさの違いに気付こうとする。

○ 工夫した点

○ 教師が考えた実験・観察方法ではなく、光がどのように進むのかを確かめるために学習者自身が見通しをもって実験や観察方法を考え、グループでその方法について話し合い、実験や観察を実施させる。

○ 実験や観察を終えた後に、本時の活動を事実を基に振り返らせる。また、令和4年度実施の全国学力調査問題(問題番号3-1)に取り組みさせ、その問題を実験や観察において再現し実際に確かめることで更に思考を深める。

今までの授業では…

【学習課題】

かがみではね返した日光は、どのように進むのだろうか。



先生：かがみではね返した日光をあちらのかげにある的に当ててみよう。

児童A：あれ私の光はどこかな？

児童B：僕の光は的に当たっているよ。

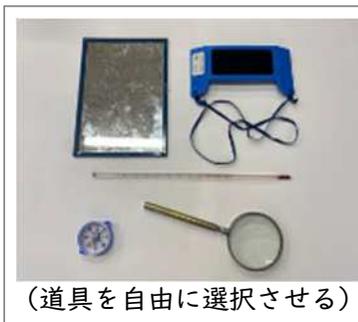
児童C：みんなの光が的に当たりました。

先生：では、これから、かがみではね返した日光の進み方を調べましょう。そのためには、はね返した日光を日かげの地面にはわせ、日光の進み方を調べます。…日光の進み方はどうなっているかな。

学習者主体で授業をデザインすると！

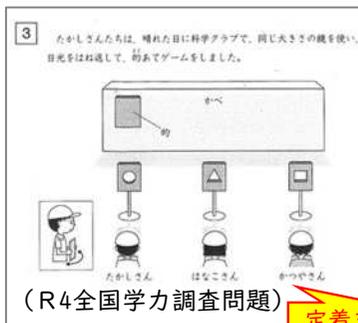
【学習課題】

かがみではね返した日光の進み方を調べるためには、どのような実験や観察を行い、どのようなことが分かるだろうか？



(道具を自由に選択させる)

(日光を日かげの地面にはわせることで日光の進み方が分かる実験方法)



(R4全国学力調査問題)

定着を確かめる

【導入・問題・実験・観察】

先生：ここにある道具を使って、実験や観察をしてかがみではね返した日光の進み方を調べたいと思います。何をどのように使えばよいかまずは一人で考えましょう。

児童が自ら実験方法を考える

児童A：かげにある的に、はね返した日光を当てればよいと思います。

先生：では、みんなで実際にその方法で日光の進み方を調べてみよう。

この方法で、日光の進み方はわかったかな？

児童B：日光は見えないので、わかりません。

先生：では、日光の進み方が見えるような実験・観察だといね。そんな方法はないかグループに分かれて考えましょう。

【まとめ・振り返り】

意見を出し合い、協働して解決する

先生：かがみではね返した日光の進み方を調べるためには、どのような実験や観察をすればよいですか？

児童A：この映像を見てください。このように、鏡ではね返した日光を日かげの地面にはわせることで日光の進み方は一直線であることが分かります(ロイロノートを活用した発表)。

【定着のための練習問題】

児童が自ら撮影した映像を見て振り返る

先生：では最後にこの問題に挑戦してみましょう。的に三角形の光を当てることができるのはだれですか？(左図のR4学調問題の図を見せ、理由まで考えて解答させる。)

児童A：日光の進み方は一直線(まっすぐ)なので、的に三角形の光を当てることができるのは、かつやさんです。

(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

三島村
教育委員会

小学校3年
算数科

動画学習者主体の
授業風景Youtube



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【知識及び技能】

答えの求め方を理解することができる。

【思考力、判断力、表現力等】

学んだことを式や図・表などを使いながら、友達にわかりやすく説明したり、ノートやワークシートにまとめたりすることができる。

【学びに向かう力、人間性等】

自らの学習状況を把握し、学習の進め方を試行錯誤しながら学ぼうとする。

○ 工夫した点

- 学習計画表に基づいて、子どもたちが自分のペースで学習を進める。教科書だけでなくタブレットやワークシートなど、自分で学習方法を選択できるような提案をいくつか紹介する。
- わからないところでつまづいている子どもがいたら、相談にのったり友達同士で解決できるように支援したりする。
- タブレットの有効的な使い方を事前に指導する。

今までの授業では…

【学習課題】

「～はどうしたらよいだろうか。」

「～を調べよう。」

「なぜ～なのだろう。」

「～について考えよう。」

児童全員が同じ問いをもっているわけではなく、同じめあてを立ててもいいのか…

先生：これまでの学習を使って解決できないかな。

前時と違うのはどこ？

(教師主導による予想)

生徒A：前回の○○を使って解決できるのではないか。

(数名によるつぶやき)

先生：じゃあ、今日の学習は…

数名のつぶやきからめあてを作っているだけ

学習者主体で授業をデザインすると！

【単元の学習課題】

- ① 第1時で**学習計画表**を配付し、この**単元で学ぶ内容を全体で確認**する。
- ② 学習計画表を見ながら、本時で**自分が学習することを授業開始時に確認**をする。
- ③ 全体で指導すべき点は、授業の開始時に説明をする。
- ④ 教科書や計算ドリルを使いながら、**単元の内容を自分で学ぶ**。わからないことは動画を見たり友達に聞いたり、できる限り自分たちで解決する。教師は、個々の状況を観察し、相談にのったり支援を行ったりする。

【ステップ1】 教科書を進める。 学びポケットのaboard	【ステップ2】 ロイロノート 資料箱 算数練習プリント タブレット 3年算数	【ステップ3】 ミニ先生になってみる。 自分で考えて学習する。 (例)・自分で問題を作ってみる。 ・練習問題をWebからさがす。 ・先生に問題集を借りる。 など	【確認】 学習したこと 学びポイント
1 できるようになったこと 千の位をこえる数	教科書 P6-P6 P7-P8	ステップ1 13	
2 一万の位をこえる数	P7-P8	13	
3 大きい数のしくみ 100の位と 10の位の関係	P9		
4 大きい数のしくみ 算数箱	P10 P11	13 ステップ1+2	
5 大きい数の大小 水筒	P12	13 ステップ3	
6 10倍・100倍・1000倍 の数	P13 P14	23 ステップ1+3	
7 10でわった数	P15	23 ステップ4	
8 大きい数のたし算・ひき算	P16 P17	23	
9 できるようになったこと	P18	23	
10 確認プリント まなびをいかそう	P19		

【3年生「大きい数」計画表】

- ⑤ 単元の内容を一通り理解できたら、**自分たちで発展的な学習を計画し、進めていく**。
(例：問題作り、ロイロノートの資料箱から練習問題を取り出し、問題を解く、算数アプリ、ミニ先生になる、上学年の授業動画を見て予習するなど)
- ⑥ 授業が終わったら**今日学習したことを計画表に記入して振り返り、次時はどこから学習を開始するか、どのような課題を解決したいか確認**する。

【学び方のステップ】

【ステップ1】

- 教科書を進める。
- 学びポケットのaboard

【ステップ2】

- ロイロノート 資料箱
- 算数練習プリント
- タブレット 3年算数

【ステップ3】

- ミニ先生になってみる。
- 自分で考えて学習する。
(例)・自分で問題を作ってみる。
・練習問題をWebからさがす。
・先生に問題集を借りる。 など

(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

十島村
教育委員会

小学校6年
算数科



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【知識及び技能】

比の意味や表し方、比の相当の意味を理解し、2つの数量の関係を調べて比で表したり、等しい比をつくったりすることができる。

【思考力、判断力、表現力等】

日常の事象における数量関係に着目し、比を用いた関係の比べ方を既習の割合と関連付けてとらえることができる。

○ 工夫した点

○ 前時に宿題として記号「:」コロンについて、身の周りにあるもので実際に見たり、利用したりしているものから探すことから、高い関心を持つのではないかと考えた。

○ 児童の発言などから、性質などがあることに気付かせたり、これまでの学習との関連なども広げさせたい。

今までの授業では…

【学習課題】

数量の関係を3:2のように記号「:」を使って表そう。

先生：カルピスの作り方でカルピスの原液の量が1デシリットルで水の量が5デシリットルの割合で混ぜることを1:5と書いて、1対5と読みます。では「3:2」は何と読みますか。

児童A：3対2です。

先生：今日は、同じように記号:を使って、いろいろな数量を表してみよう。

学習者主体で授業をデザインすると！

【学習課題】記号「:」はどのような場面で使われているでしょうか

先生：この記号「:」は身の回りのどのような場面で使われているでしょうか。探してきましょう。

※ 前日の宿題として取り組む。

先生：昨日の課題でどのようなものがありましたか。

児童A：部屋の時計にありました。8:50とか。

児童B：料理の本の中で調味料の量を表していました。

児童C：お父さんの焼酎のグラスに3:7とか書いてありました。

先生：Aさんの8:50という表現でこの記号は何を表していますか。

生徒：時刻の何時と何分を分ける意味で使われているね。

児童C：じゃあ、グラスの3:7は何を表しているのかな。

解決した課題の共有

視点①：子供が自ら問いを発見する

先生：それでは、3:7は何を表しているのか予想してみましょう。

児童B：タブレットを使って調べたり、ロイロノートの資料箱を見たり、友達と相談してみてもいいですか？

個に応じた見通しの支援

視点②：子供が課題解決の方法を見通す

【問題】ホットケーキを作るのに小麦粉と砂糖が10:2の比になるように使います。同じ味のホットケーキを作るのに小麦粉が100gあるとき、砂糖は何g必要でしょうか。

個での試行錯誤や協働の選択

先生：この問題では、どのようなことが分かっているでしょうか。

児童A：小麦粉が10から100に10倍しているから、砂糖も10倍の20gにすればいいと思います。

児童B：小麦粉の量が2倍になれば、砂糖の量も2倍になるね。

児童C：それって比例の関係だね。

先生：面白いところに気が付きましたね。

比に関係することをもっと調べていきましょう。

新しい問いの発見

視点④：子供が自らの学びを振り返り、次に生かす

(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

枕崎市
教育委員会

中学校2年
理科



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【思考力、判断力、表現力等】

- 学習課題を解決するため、結果の見通しをもって必要な実験方法を企画し、安全に気を付けて実験することができる。また、結果をもとに考察し、図や言葉を用いて説明することができる。

【学びに向かう力、人間性等】

- 化学反応式を用いて解決する課題に関心を持ち、進んで課題を解決しようとする。

○ 工夫した点

- 構成する原子が少なく、化学反応式をもとに実験の手順や見通しをもたせることが比較的容易な物質(NaClOとHCl)の反応について化学反応式をもとに考えさせ、結果を確かめるために必要な実験方法を、生徒同士の対話を通して企画させ、生徒主体で企画に基づいた実験を行わせる。
- 授業支援ソフト(ロイノート)を活用し、各班の実験の企画や結果をもとにした考察を可視化し、全体で共有する。

今までの授業では…

【学習課題】

次亜塩素酸ナトリウム水溶液と塩酸を混ぜたら、どのように反応するだろうか。

- 生徒A： 塩酸と金属と反応させた時に水素が発生したから、同じように水素が発生するのかな。
- 生徒B： それぞれに塩素原子が含まれているから、塩素が発生するのかな。
- 先生： **ここに準備してある器具を使って、班で協力して実験を始めてください。**

学習者主体で授業をデザインすると！

【学習課題】

2つの物質を混ぜると、どんな反応が起こるだろうか。



個に応じた
見通しの支援



個での試行錯誤や
協働の選択



解決した課題の
共有



振り返り



新しい問いの発見

子供が自ら問いを発見する

- 先生： 私たちの生活に身近な2つの水溶液です(提示)。
- 先生： **2つを混ぜた時、どんな反応をするでしょうか。**

- 生徒A： 次亜塩素酸ナトリウム水溶液は漂白剤で使われているね。強いアルカリ性だよ。
- 生徒B： ラベルに「**まぜるな危険**」と書いてあるけど、どうやって調べればよいか。

子供が解決の方法を見通す

- 先生： **これまで学習したことを使って、解決する方法を考えてみよう。**
- 生徒A： 化学反応式を書いてみたらどうなるかな。
$$\text{NaClO} + 2\text{HCl} \rightarrow \text{NaCl} + \text{H}_2\text{O} + \text{Cl}_2$$
- 先生： **化学反応式から何が分かるか話し合ってみよう。**
- 生徒B： 塩素が発生するから、危険だね。
- 生徒C： 食塩や水もできるね。

子供が課題解決まで試行錯誤を繰り返す、協働する

- 先生： **分かったことをもとに、実験の計画を立て、ロイノートで共有します。**
- 生徒A： 塩素は水に溶けやすい性質で、空気より少し重いから、下方置換法で集めるといいね。
- 生徒B： 2つの水溶液を試験管の中で混ぜて反応を確かめるといいね。集気びんが必要だよ。
- 生徒C： 2つの水溶液を混ぜた液を少しとってガスバーナーで熱したら、食塩が出てくるはずだよ。
- 先生： **実験の結果と考察を説明してください。**
- 生徒A： 集気びんに薄い黄緑色の気体が集まりました。色やにおいから、塩素だと思います。
- 生徒B： 混ぜた水溶液を熱したら、白い個体が出てきました。食塩だと思います。
- 先生： **塩素は、インクの色が消えることで確かめることができます(演示実験)。**
- 先生： **今日の学習で学んだことや、身に付けたことなどを振り返りましょう。**
- 生徒A： 化学反応式をもとに結果を予想し、準備することで安全に実験できることが分かりました。
- 生徒B： **他の水溶液でも実験して確かめてみたいです。**

子供が自らの学びを振り返り、次に生かす

(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

指宿市
教育委員会

小学校6年
理科



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【知識及び技能】

てこが水平につり合うときのきまりについて、実験用てこなどを正しく扱いながら調べ、てこをかたむけるはたらきは力の大きさと支点からの距離の積で求められることを理解することができる。

【思考力、判断力、表現力等】

てこが水平につり合うときのきまりについて、実験結果を基に考察し、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。

○ 工夫した点

- なかなか水平につり合わないシーソーの場面を提示し、どうやったらつり合うかを考えさせることから、学習課題を設定し、グループで調べる活動を通して、てこが水平につり合うときのきまりを見つける活動を行う。
- 活動の中で、実験用てこの片方のうでにおもりを2か所つけたグループを取り上げ、学習した内容を使って計算でつり合う方法を見つけさせるようにする。(発展的内容)

今までの授業では…

【学習課題】

てこが水平につり合うときには、どのようなきまりがあるのだろうか。

先生：支点と力点の距離が長かったり、支点と作用点の距離が短かったりすると、てこを使って楽に持ち上げることができますね。ちょうど水平になるには何かきまりがあるのでしょうか。

児童A：支点から離れるように指を少しずつずらすと、だんだん力は小さくなるね。

学習者主体で授業をデザインすると！

【学習課題】

50kgのはなこさんと30kgのたろうくんが、シーソーでつり合うにはどうしたらよいでしょうか？

子供が自ら問いを発見する

先生：50kgのはなこさんと30kgのたろうくんがシーソーをしているんだけど、なかなかつり合なくて、けんかしているよ。どうすればいいのかな。

児童A：はなこさんが重いんだから前に行けばいいんじゃない？

児童B：軽いたろうくんが後ろにいけばきっと水平になるよ。

児童C：前の時間に支点からの距離が関係していたから、今度も何か関係しているんじゃないかな。

児童D：水平につり合うときのきまりがあるのかな。



先生：実験用てこという道具がありますよ。片方のうでに下げのおもりは変えないで調べてみましょう。

(条件制御) 使い方は、いろいろな方法で調べていますよ。ワークシートには二次元コードもあります。参考にしてみてください。

子供が解決の方法を見通す

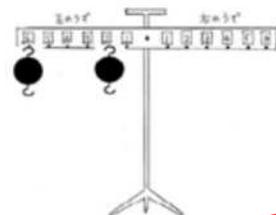
子供が課題解決まで試行錯誤を繰り返す、協働する

児童A：おもりを下げている番号のところと、おもりの重さをかけ算したときの答えが同じだとつり合うね。

児童B：おもりの重さと支点からの距離をかけた答えが同じだったら水平になるよ。

先生：みんなが見つけた式でもとめた数が「てこをかたむけるはたらき」を表します。

児童C：私たちのグループは、片方のうでの2か所に10gずつおもりをつけてみました。



児童D：2か所につけても支点からの距離とおもりの重さをかけて、その数を合わせた数が分かればつり合いました。

先生：きまりさえ分かれば、何か所つけても水平につり合わせるができますね。

それでは、今日の学習を「わ・で・か・い・も」でふり返りましょう。

(わ：わかったこと で：できたこと か：かんがえたこと い：いかしたいこと も：もっと知りたいこと)

子供が自らの学びを振り返り、次に生かす

(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

南さつま市
教育委員会

中学校3年
国語科



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【知識及び技能】

他者の思いや考えなどを理解したり、自分の思いや考えを伝えたりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。

【思考力、判断力、表現力等】

文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。

○ 工夫した点

- 初発の感想で生徒の出した考えたい、知りたいなど様々な疑問から、教師主導にならないように、生徒が吟味した上で自分の考えを表現できる、また、多様な読みができる課題を提示する。
- 言葉で読んだり、書いたりすることを苦手とする生徒にとっても自分の考えを書くことができるような思考ツールを活用させ、支援する。

今までの授業では…

【学習課題】 片時も忘れることのなかった故郷と離れるわたしが、「名残惜しい気はしない」のはなぜだろうか。

- 先生：今日は5の場面の学習をします。これまでの学習で20年ぶりの故郷、20年前の閩土や現在の閩土などについて読んできましたね。5の場面ではわたしはどんな気持ちで故郷を離れますか。
- 生徒A：名残惜しい気はしないと書いてあります。
- 先生：そうだね。では、今日はこの学習課題について考えていきます。それでは5の場面を読んでいきましょう。

学習者主体で授業をデザインすると！

子供が自ら問いを発見する

【学習課題】

灰の山にわんや皿を10個余りを埋めたのは誰だろうか。

子供が解決の方法を見通す

個に応じた見通しの支援

個での試行錯誤や協働の選択



解決した課題の共有

振り返り

子供が自らの学びを振り返り、次に生かす

- 先生：5の場面でのみなさんの疑問はなんでしたか。
- 生徒A：わたしが故郷を離れようとしているとき、楊おばさんが灰の山からわんや皿を掘り出してきて閩土が埋めたことになったことです。
- 生徒B：本文にはあれこれ議論の末、結論になったとありました。本当に閩土が埋めたのでしょうか。
- 先生：それでは、「灰の山にわんや皿を10個余りを埋めたのは誰なのか。」について意見を書いてみよう。ただし、なんとなくそう思うのではなく本文を根拠にして理由付けまで考えよう。
- 先生：自分の考えをまとめるワークシートや、思考ツールもあるので自分が考えやすい方法を使ってください。
- 先生：記述できたらロイロノートの提出箱に提出してください。ただし、テキストの色を指定します。閩土はピンク、楊おばさんは黄色、その他は水色にしてください。参考にしたい人は参考にしてください。自分と同じ、違うそれぞれの意見を見て自分の意見を補強しても、考え直してもいいですよ。

子供が課題解決まで試行錯誤を繰り返す、協働する

- 生徒A：あっ〇〇さんも同じ意見だ。どんな根拠か聞いてみよう。
- 生徒B：意見はあるけれどどんなふうにかいたらいいかわからないな。同じ意見の〇〇さんの書き方を見てみよう。
- 先生：それでは、みんなの最終意見を共有しましょう。
- 先生：今日の学びを振り返ってみましょう。(共有ノートで可視化する。)
- 生徒A：登場人物の言動や、そこに見られる考え方についてどう読み取るかで意見はまったく違いました。
- 生徒B：〇〇さんの根拠を聞いてそんな読み方もあるのかと気づきました。
- 先生：次の時間もたくさんみなさんの読み方、考え方を知りたいですね。

私は灰の山に碗や皿を埋めたのは楊おばさんだと思う。なぜなら楊おばさんは以前手袋を行きがけの駄駄として勝手に持ち帰っているからだ。このようなことをする人は繰り返すのではないかと考える。毎日必ずやって来ていたので埋める時間もあつたはずだ。

(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

南九州市
教育委員会

小学6年生
算数科



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【知識及び技能】

角柱や円柱の体積は、(底面積)×(高さ)で求められることを理解して、体積を求めることができる。

【思考力、判断力、表現力等】

直方体の体積の求め方から、角柱や円柱の体積の求積公式を考えることができる。

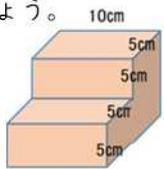
○ 工夫した点

- 学習進行表を作成し、自ら学び進めることができるようにする。
- 学習進行表に単元で目指す個人の目標や、学習の進め方、学習の振り返りの枠を設け記入させ、進行状況の把握に努める。
- 板書に、ノートの記事例を示すことで、自らノートを用いて学習に取り組めるようにする。
- 一人一人の実態に合わせたスピードで学習を進められるよう、支援が必要な児童一人一人に個別の対応を行う。

今までの授業では…

【学習課題】

四角柱が組み合わされた立体の体積を求めましょう。

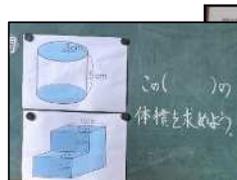


先生：今日は四角柱を組み合わせた立体の体積を求めます。これまでの学習で学んだことや考えたことを生かすと、体積を求められそうですね。どのように求めたらよいと思いますか？

児童A：「底面積×高さ」で求めたらよいと思います。

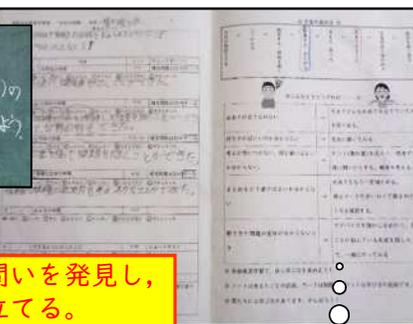
先生：本当にそれで求められるか確かめるために、他の求め方をさがしてみよう。

学習者主体で授業をデザインすると！



板書に示す
学習課題

①子供が自ら問いを発見し、
学習の計画を立てる。



学習進行表

④子供が自らの学びを振り返り、
次に生かす



学習の振り返り

複雑な立体の体積も、
底面積×高さの式で求められるのだろうか。



発展問題

早く終わったから、
難しい問題に挑戦しよう！

5年生で学習した立体を2つに分ける方法で解けないかな。



学習の見通しをもつ

②子供が解決の方法を見通す



③子供が課題解決まで試行錯誤を繰り返し、必要ときは友達と協働する



底面を決めるために、向きを変えたらいいんじゃない？

解決のための教え合い

タブレットのドリルで確かめよう。



タブレットの活用

どう式を立てたらよいかわかりません…



個別指導

(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

阿久根市
教育委員会

小学校6年
算数科



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【知識及び技能】

全体の量と2つの数量の比の関係を調べ、比例配分の意味と計算の仕方を理解することができる。

【学びに向かう力、人間性等】

比の性質を活用して、課題解決のために粘り強く取り組もうとする。

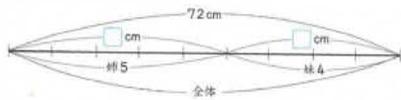
○ 工夫した点

- 本単元の目標である比例配分の意味と計算に焦点を絞り、問題文を具体操作ができる内容に変更し、実際に具体物を操作しながら等しい比を確認し、主体的な活動ができるようにする。
- グループごとに考えたことをタブレットに入力し、互いの考えをすぐに確認し合えるようにする。
- ラスト10分の振り返りの時間で、今日学んだこと、できるようになったこと、次にやってみたいこと、さらに知りたいこと等を確認することで、次時に向けた学習の意欲を高めるようにする。

今までの授業では…

【学習課題】

長さ72cmのリボンを、姉と妹で、長さの比が5:4になるように分けます。それぞれ何cmになりますか。



先生：リボンを5:4に分けるには、どう考えればよいでしょうか。

児童A：線分図にかいて考えるといいと思います。

児童B：姉と妹で5:4なので、全体は9で考えたらできると思います。

先生：分からない数をxとして考えてみましょう。

学習者主体で授業をデザインすると！

【学習課題】

6年生15人をA班とB班で、人数が3:2になるように分けます。それぞれ何人になるでしょうか。

〔グループ〕
試行錯誤や協働の選択

先生：実際にブロックを使って、15人を3:2に分けてみよう。

【個別最適な学び・協働的な学び】

児童A：まず、3個と2個に分けてみよう。
児童B：15は、3個と2個のグループが3組できたよ。

〔全体〕
解決した課題の共有

先生：これまでの学習と違うところがありますか。
児童A：これまでは、種類の違うものを比に表していたけれど、同じものを比で分けています。

〔個〕
見通しの支援

先生：等しい比や計算で求める方法を考えてみましょう。

先生：考えがまとまったら、ロイロノートの提出箱に入れてください。わからないときには、友達のを参考に見てみましょう。

〔全体〕
解決した課題の共有

【対話活動の充実・協働的な学び】

先生：グループごとに考えを発表してください。
児童A：比を足して全体を5と考えると、計算ができます。
児童B：Xを使った比で考えられます。

〔個〕
試行錯誤

先生：自分の考えや友達のを参考にしながら、自分が求めやすい方法で挑戦しましょう。

72cmのリボンを姉と妹で5:4に分けます。それぞれ何cmになりますか。

先生：今日の学習の振り返りをします。今日学んだことや分かったこと、もっと知りたいことなどを入力して提出箱に提出しましょう。

〔個〕
学びの振り返り

【振り返り・自己調整力】

児童A：かけ算を使って、全体を何等分しているのかを考えて計算する。
児童B：全体を何等分しているのかは、比を足せば分かる。

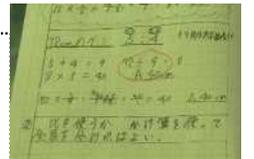


児童が試行錯誤を繰り返す。協働する。



児童が自ら問いを発見する。

児童が解決の方法を見通す。



①分かったこと、考えたこと

11月2日(日)

- ・ブロックや比かけ算などを使って計算すればいいということが分かった。
- ・全体を、何等分しているのか、比から考えるということに気をつける。

②できるようになったこと、学んだこと

11月2日(日)

- ・全体を何等分しているのかは、比を足せば、分かる。
- ・比を足ったり、かけ算を使えば、全体を分けることができる。

児童が自らの学びを振り返り、次に生かす。

(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

出水市
教育委員会

中学校2年
英語科



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【知識及び技能】

- ・ 比較表現や受け身に関する事項を理解できる。
- ・ 比較表現や受け身などの意味や働きの理解を基に、日本文化や自分の町について、情報や考え、気持ちなどとともに話して伝える技能を身に付けることができる。

【思考力、判断力、表現力等】

台湾の人に日本文化や自分の町に興味をもってもらえるように、聞き手を引き付ける情報や自分の考え、気持ちなどとともに話して伝えることができる。

【学びに向かう力、人間性等】

台湾の人に日本文化や自分の町に興味をもってもらえるように、聞き手を引き付ける情報や自分の考え、気持ちなどとともに話して伝えようとする。

○ 工夫した点

- 必然性のある言語活動を通して学習の有用性を生徒に感じさせるために、目的・場面・状況を明確にした単元目標を設定した。
- 台湾の中学生と実際に交流する機会を設定した。(真正な学びの設定)
- 学習を自己調整する力を高めるために、目標到達に向けて「いつまでに」、「何をどうするか」などを自己決定する場面を多く設定した。
- 知識・技能の定着を促進するために、既習内容を想起させたり、既習事項の効果的な活用に対する価値付けを行ったりした。

今までの授業では…

先生: *Today, you will introduce Japanese culture in 5 sentences in English.* (今日は、日本文化を5文で紹介しましょう)

生徒A: *Why? (なんで?) Just play the game as usual and it's over!* (いつものようにゲームして終わればいいじゃん!)

学習課題

今までに学んだことを使って、日本文化について5文以上で発表しよう。

どんな英語で話せばいいの?

準備したいけど…

できるはずない!

誰に、なんで?



学習者主体で授業をデザインすると!

【学習課題】

来月本校を訪れる台湾の生徒と、事前のオンライン交流をすることになりました。台湾の生徒は日本文化について、ある程度の情報はもっているようですが、詳しいことや私たちの町についてはあまり知らないようです。(目的・場面・状況の設定)

発表は4人グループで行います。発表の内容や仕方は自分たちで決めてください。

導入の場面で…

What do they want to know? Let's think and talk about it in your groups.



自ら問いを発見する。

台湾では日本のポップカルチャーが人気らしいから、それについて詳しく紹介しよう。どんな内容にして、どんな表現を使えばうまく伝わるかな。

解決の方法を見通す。

発表はプレゼン形式にしよう。写真は僕が集めるよ。自分で経験したことも入れたら自分たちのことも知ってもらえるね。そういえば、教科書の本文に使える文があったよ! 来週の発表に向けて今週中に原稿を仕上げよう。

課題解決の過程で…

先生、交流は楽しみですが、うまく発表できるか自信がないます。



No problem, you can get advice from your friends, ALT and me. Please ask any time. You can use your tablets to get some help too.

大丈夫、友達やALT、私からアドバイスをもらえます。タブレットを使ってもいいですよ。(指導の個別化)

試行錯誤を繰り返す。協働する。

比較表現を使って英文を作ることはできたけど、一緒に練習した友達は“*If you like to watch sports, …*”という英文を使っていたぞ。接続詞ifや不定詞も使えるんだな。他の友達とも練習し合って、いろんなアイデアを参考にしていこう。

単元終末の場面で…

児童が自らの学びを振り返り、次に生かす。



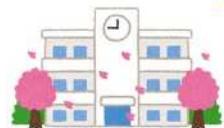
台湾の生徒が自分の発表に頷いてくれている! 驚いている様子もあったな。新しい情報を伝えられたかも! 相手の使う言葉に比較表現があって、内容を理解できた! もっといろんなことを英語で伝えたり、理解したりしたい!

(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

薩摩川内市
教育委員会

中学校1年
英語科



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【知識及び技能】

中学校生活の楽しさを伝えるために必要な語彙や表現を用いて、適切に伝えることができる。

【思考力、判断力、表現力等】

中学校入学に不安を感じている6年生に対し、中学校生活への期待が高まるよう、伝える内容や表現を工夫して学校を紹介することができる。

【学びに向かう力、人間性等】

聞き手の立場や自分の経験を基に内容を選び、表現しようとする。

○ 工夫した点

- 生徒指導の実践上の4つの視点を踏まえた授業づくりを行う。
- 生徒が目的意識や相手意識を高めながら、紹介する内容や方法を主体的に考える活動を設定する。
- 共有の場面では、生徒が互いの作品の良さに着目しながら、「楽しさ」や「伝わりやすさ」を視点に自分の作品を見直し、練り直すようにする。

今までの授業では…

【学習課題】

英語で学校を紹介しましょう。



次の内容について
紹介します。

【学校紹介の内容】

- ・ 生徒数、教員数
- ・ 創立〇年
- ・ 部活動
- ・ 主な学校行事

限られた内容で、全員がほぼ同じ
紹介文を作成している。

個に応じた
見通しの支援



個での試行錯誤
や協働の選択



解決した課題
の共有



振り返り

学習者主体で授業をデザインすると！

子供が自ら
問いを発見する

先生：Let's look at this graph.

(中学校入学への期待と不安に関するアンケート結果提示)

生徒A：6年生に中学校の楽しさを伝えたら、もっと安心できるのかな。

子供が解決の方法を選択する。【自己決定の場】

生徒A：先生たちのことが分からないと不安だったから、動画を撮って名前や得意なこととか紹介するのはどうかな。

生徒B：いいね。私は、勉強のことが気になっている6年生が多いから、授業の様子が分かるように伝えようと思う。

生徒C：そうだね。部活や学校行事を楽しみにしているみたいだから、詳しい内容が伝わるように紹介したいな。

先生：タブレットで動画を撮ると、共有もしやすいですね。

【学習課題】

中学校生活の楽しさが伝わる動画にするには、どんな工夫をすればよいだろうか。

子供が課題解決まで試行錯誤を繰り返し、協働する【共感的人間関係】

生徒A：「得意なこと」って、どう言えばいいのかな？

生徒B：6年で習ったHe can~, She can ~.を使うのはどう？

生徒A：なるほど。You canとか We canとか、いろいろ使えるね。

生徒C：We canを使うと、「一緒に！」っていう感じで楽しいね！

子供同士の考えをつなぐ。【教師のファシリテーターとしての役割】

先生：動画をロイロノートで提出しましょう。

お互いの学校紹介の動画を観て、工夫している点を見つけ、より良くなるように練り直してみよう。

生徒B：Dさんの動画は、6年生への質問が入っていて、いいね。

生徒C：うん、最初にあいさつや呼びかけがあると、親しみがわくね。

子供が自らの学びを振り返る。【自己存在感】

生徒A：友達とクイズ形式で考えたら、楽しい動画ができたよ！

生徒B：6年生の頃を想像したら、いろんなヒントが浮かんだよ！

(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

さつま町
教育委員会

小学校2年
算数科



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【思考力、判断力、表現力等】

乗法九九を想起し、場の状況を考えながら、乗法九九を生活場面で活用することができる。

【学びに向かう力、人間性等】

乗法九九を活用して、きまりを見つけたり、工夫したりして、身近な問題に生かそうとする。

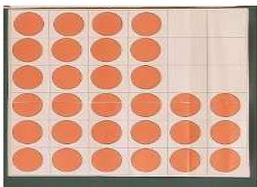
○ 工夫した点

- 一人一人が取り組みやすい方法で活動できるように、解決するための方法を選択させて見通しをもたせる。【選択】
- それぞれの考え方をホワイトボードに書かせて、可視化させ、似た考え方を同士で分類し、共通点を見出させるようにする。

今までの授業では…

【学習課題】

チョコレートはぜんぶで何こありますか。



先 生：これまでかけ算九九を学習してきました。全部の数を求めるには、どうしたらいいですか。

児童A：数えたらいい。

児童B：かけ算九九を使う。

児童C：まとまりを作る。

先 生：そうですね。では、まとまりを作って考えてみましょう。

学習者主体で授業をデザインすると！

【学習問題】

ぜんぶの数をかんたんにもとめるには、どのようにすればよいだろうか。

子供が自ら問いを発見する

先 生：チョコレートの数は、何個あるでしょう。いつもと何が違うかな。

児童A：えっ、簡単に求められない。

児童B：同じ数のまとまりがないよ。

子供が解決の方法を見通す

先 生：簡単に求めるにはどうしたらいいかな。

児童C：前の時間で習ったようにまとまりで考えたらどうかな。

児童D：ブロックを使って考えたらどうだろう。

先 生：どんな方法ならできるか、じゃあ20分考えてみよう。ブロックや図、ホワイトボードは、ヒントコーナーに置いてあります。



児童E：6のまとまりが4個と、3のまとまりが2個あるよ。

児童F：児童G：大きな6のまとまりが6個あるから、そこから引くといいかな。

先 生：自分の考えを黒板に貼ったら、似た考えがないか整理してごらん。

子供が課題解決まで試行錯誤を繰り返す、協働する

児童H：6×5の式で求められます。

児童I：なんで、そんな式になるんですか。

児童J：はしにある3個を動かすと、6のまとまりが5個できるから、これまでと同じようにできます。

先 生：今日の学習を振り返って気付いたことを発表してごらん。

子供が自らの学びを振り返り、次に生かす

児童K：まとまりで分けたり、動かしたりして考えると九九を使うことができます。

(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

長島町
教育委員会

中学校2年
数学科



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【知識及び技能】

補助線を引いたり，図形の性質を利用したりして，角の大きさを求めることができる。

【思考力，判断力，表現力等】

角の大きさの求め方を，補助線や根拠となる図形の性質を明らかにして説明することができる。

○ 工夫した点

- 自力追究がしやすくなるように，既習事項を掲示するとともに，ICT機器に既習事項を残すようにした。また，グループ活動を活性化させるために，友達同士で協働学習がしやすい座席配置を行った。
- 導入や展開場面での説明を減らし，必要な活動に時間をかけられるようにするとともに，ICT機器を活用して時間を削減し，振り返りの時間10分を生み出すようにして，確かめ・見届けができるようにした。

今までの授業では…

【学習課題】

星形五角形の先端部分の5つの角の和は，何度になるだろうか。



先 生：星形五角形の先端の5つの角の和は，何度になると思いますか。

生徒A：360° になると思います。

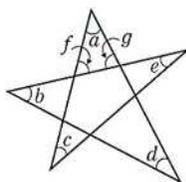
生徒B：180° くらいだと思います。

先 生：それでは，次の考え方を見て，既習事項をもとに説明を考えてみましょう。

$$\angle c + \angle e = \angle f, \quad \angle b + \angle d = \angle g$$

したがって，

$$\begin{aligned} & \angle a + (\angle c + \angle e) + (\angle b + \angle d) \\ &= \angle a + \angle f + \angle g \\ &= 180^\circ \end{aligned}$$



学習者主体で授業をデザインすると！

先 生：星の形ってどんな形を思い浮かべるかな。空書きしてみよう。星の先端の角度を全部たしたら何度になるかな。

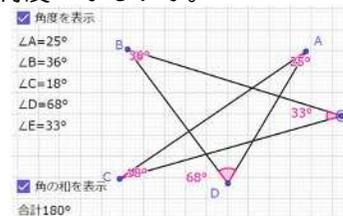
生徒A：360° になると思います。

生徒B：180° になると思います。

先 生：それでは，**今からタブレットで操作しながら，何度になるか考えてみよう。**

生徒A：どんなに形を動かしても180° になるよ。

生徒B：何で180° になるんだろう。



子供が自ら
問いを発見
する

【学習問題】

星形五角形の先端部分の5つの角の和が180° になることは，どのように説明すればいいだろうか。



個に応じた 見通しの支援

先 生：「どんな方法で」「どんな考え方で」説明したらいいかな。

生徒A：今まで習った「図形の性質」を使えばいいと思います。

先 生：「**図形の性質**」をロイロノートに送ってあるので，参考にして考えてみましょう。

子供が解決
の方法を見
通す

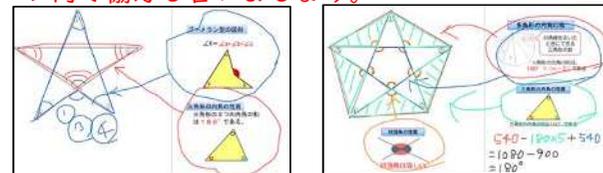
個での試行錯誤

先 生：ロイロノートに書き込んで考えてみましょう。説明のために使った「図形の性質」カードを説明のカードの中に入れて込んだり，色分けして分かりやすくしたりして工夫しましょう。

子供が課題
解決まで試行
錯誤を繰り返
す，協働する

グループ内での 試行錯誤や 協働の選択

先 生：グループ内で困っている人がいたら，グループ内で協力しましょう。



個での振り返り

振り返りのポイント

- 分かったこと
- 考えたこと
- 友達の見解でいいと思ったところ
- もっと深めたいこと

先 生：今日のまとめを，自分の言葉でまとめてみましょう。

振り返りをします。振り返りのポイントを参考に，文章で振り返りましょう。

先 生：学習したことを確認する問題を送ります。3問のうち，自分が取り組みたい問題を選んでチャレンジしてみましょう。(補充・発展)

子供が自らの
学びを振り返
り，次に生かす

(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

霧島市
教育委員会

中学校2年
保健体育



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【思考力、判断力、表現力等】

運動の取り組み方を工夫し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。

○ 工夫した点

- 生徒の意欲を引き出す導入の工夫や生徒の言葉を基に行うまとめの時間を設定する。
- 学校独自の運動事例集を活用したり、実生活の中でも取り入れられるような道具を活用したりすることで、全ての生徒が具体的な活動イメージをもって意欲的に学習に取り組めるようにする。
- 体力テストの結果や長期休みに取り組んだ運動計画を振り返らせ、自己の体力の課題を考え、課題の克服に向けた運動プログラムづくりに取り組ませる。
- 各自が運動の強度ごとにグループを選択し、仲間の運動プログラムへのアドバイスや話し合い活動の時間を取り入れる。

今までの授業では…

「アスリートモリモリ」コース
「運動大好きワクワク」コース
「健康第一ニコニコ」コース

【学習目標】 体力を高めるためのプログラムを考えよう。

導入 先生：今日は力強い動きを高める運動をします。
馬跳びと腹筋と腕立て伏せを数えながらやってみよう！
生徒：はい！いちに！さん！（数えながら馬跳び）

展開 先生：この方法で腕立て伏せをしたあとに、脈拍が高くなりすぎているから、あなたには合っていないね。ひざをつけて腕立て伏せみたら？
生徒：はい！（Bの運動）
先生：もっと運動の効果を高めるために、声を出して回数を数えよう！
生徒：はい…。いち、にい、さん…。

学習者主体で授業をデザインすると！

導入：めあての設定

先生：前回は、自分の体力に合った運動プログラムを考えましたね。

生徒A：今日は、その運動プログラムをグループで実際に取り組んでみたいです。

生徒B：1人はタブレットで動画を撮ったらいいと思います。

生徒C：運動後の脈拍も測って、自分に合っているか考えよう！

子供が自ら問いを発見する

【学習課題】

目的に合った体力を高めるためには、どのようなプログラムを作成すればよいだろうか。

子供が解決の方法を見通す



プログラム1回目実施後：生徒のみで話し合い活動

生徒A：みんな、よく頑張ったね！運動の種類はどうだった？

生徒C：種類はいいと思うけど、脈拍が速くないし、効果があまりないんじゃない？

生徒B：そうだね。運動の順番を工夫したらどうかな。

生徒D：①の運動は易しいから、難しい②を先にして、心拍数を上げてみよう！

プログラム2回目実施後：教師が聞きながら話し合い活動

生徒D：今回はどうだった？ちょっときつかったね。

先生：どうして①と②の順番を入れ替えたのかな？

生徒B：先に心拍数を上げようと思ったからです。

生徒D：順番はよかったと思うけど、②を変えた方がいいかな。

生徒C：どの運動がいいかな。②より少し易しめがいいね。

先生：タブレットの運動事例集も参考にしてみるといいかもね。

生徒A：よし！次の時間は②を③に変えてみよう！



子供が課題解決まで試行錯誤を繰り返す、協働する

終末：タブレットを使って振り返りを記入し、ロイロノートで共有する。

先生：ほかの人の振り返りも参考になりますよ。

生徒A：Eさんは、運動の回数や運動の強度を工夫しているね。

生徒C：次の時間、挑戦できることが増えそうだ。とても楽しみだね！

子供が自らの学びを振り返り、共有し、次に生かす

(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

伊佐市
教育委員会

小学校3年
算数



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【思考力、判断力、表現力等】

小数でわるわり算の計算の仕方を、わる数を整数に直せば整数でわるわり算と同様に計算できることに気付いたり、問題場面を基にわる数を整数に直す方法を考えたりすることができる。

【学びに向かう力、人間性等】

小数でわるわり算の計算の仕方を、既習事項をもとに考えようとする。

○ 工夫した点

- 本時の学習のポイントを明確にし、「どうして」「なんで」といった問いから、子供たちが図や式などを使って確かめたり、説明したりする必然性をもたせるために、予想される誤答をもとに学習問題を焦点化した。
- 図がかけなかったり、式が思い付かなかったりする子も主体的に学習に取り組むことができるように、問題場面に合った数直線図を選択させたり、数直線と式をつなげたりする活動を設定したりなどして、それを選んだ理由を基に方法について考えさせていった。

今までの授業では…

【学習課題】

0.8Lで240円のジュースの、1Lあたりのねだんは何円ですか。

先生：どんな式で答えが出せるかな。考えてみましょう。
 生徒A：どんな方法で考えればいいのか。
 先生：掛け算かな、割り算かな。
 先生：(図を示しながら)この問題は割り算で計算します。では、計算してみましょう。

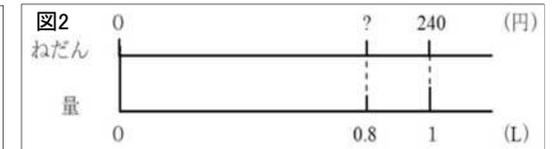
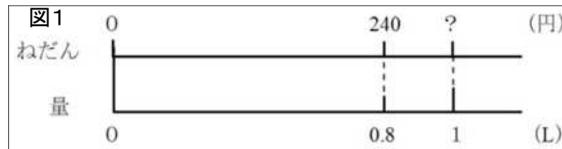
学習者主体で授業をデザインすると！

【学習課題】

0.8Lで240円のジュースの、1Lあたりのねだんは何円ですか。

子供が解決の方法を見通す

先生：学習場面に合う図は、どっちかな。



先生：どうしてそう思うの。
 児童A：だって、図1は0.8Lで240円になっていて、図2は1Lで240円だから図2だよ。
 児童B：図1は、かけ算の時の図じゃないかな。わり算のときとの違いはどこだろう。

子供が課題解決まで試行錯誤を繰り返す、協働する

先生：ロイロノートに図を送るので、図に書き込んで考えたり説明したりしてみよう。書き込んだ図は提出箱に送ってください。
 先生：計算の仕方が思い付かない人は、提出箱を共有しているので、友達のを考えて見てください。図を見て分からないことがあったら、その友達に尋ねてみよう。

先生：それぞれの考えと合う式はどれかでしょう。
 児童A：〇〇さんの考え方はLをdLに直しているね。これは10倍しているのと同じだから・・・

$240 \div 0.8 = 300$	$240 \div 0.8 = 300$
$240 \div 8 = 30$	$2400 \div 8 = 300$

子供が自らの学びを振り返り、次に生かす

先生：今日の学習を振り返って、小数のかけ算と同じところや違うところについて話し合しましょう。
 児童A：整数に直して計算しているのは同じだね。図にするとかけ算とわり算の違いがはっきりしたね。

(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

始良市
教育委員会

中学校2年
数学科



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【知識及び技能】

事象の中にある数量やその関係に着目し、連立二元一次方程式をつくることができる。

【思考力、判断力、表現力等】

与えられた情報を取捨選択し、具体的な事象の考察を通して、連立二元一次方程式を活用して解を求め、解決過程を表現することができる。

○ 工夫した点

- 与えられた情報を整理して、必要な情報を取捨選択して考える力を育成するために、様々な情報の中から課題解決に必要な数量や数量関係を見出す学習課題とした。
- 自力解決の場面でもった自分なりの見通しや解決方法を他者と共有し、意見交換をしたり、互いの考えを練り合ったりする場を設けた。他者との意見交流の際には、グループを限定せずに自由に席を移動させることにより協働しやすい環境をつくった。

今までの授業では…

【学習課題】

1 kgあたり2,500円の牛肉と、1 kgあたり2,000円の豚肉が合わせて5 kg売れ、売り上げの合計は48,000円でした。

それぞれ何kgずつ売れたか求めなさい。

- 先生：今日は売れた牛肉と豚肉の量をそれぞれ求めます。どのようにしたら求められると思いますか。
- 生徒A：牛肉の量と豚肉の量を文字で表して連立方程式で求めればよい。
- 先生：そうですね。それでは、連立方程式で求めてみましょう。

学習者主体で授業をデザインすると！

【学習課題】

牛肉・豚肉・鶏肉の3種類を販売するお店で職場体験活動を行った。店長より「昨日は牛肉と豚肉はそれぞれ何kg売れたのか。」と質問があった。次の【昨日の状況】の会話をもとにして考え、説明しなさい。

【昨日の状況】

店長：昨日の牛肉・豚肉・鶏肉の売り上げ状況はどうだったの？

従業員：販売した牛肉と豚肉のラベルはこの通りです。

従業員：鶏肉は100gあたり140円で販売して、鶏肉の販売量は5kgでした。また、牛肉・豚肉・鶏肉の3種類の販売量の合計は25kgで、売り上げの合計金額は、53,000円でした。

店長：ということは・・・牛肉と豚肉はそれぞれ何kgずつ売れたのかな？

従業員：えーっと・・・???



先生：どのようにしたら販売量を求められると思いますか。

生徒A：連立方程式を使えば求められそうだけど、たくさん数量があるからどれを使えばいいかわからない…。

生徒B：式をつくるときに必要な数量を見つけるにはどうすればいいかな。これまでに学習したことは使えないかな。

子供が自ら問いを発見する

先生：なかなか見通しがもてない人は、ロイロノートの「資料箱」のヒントカードやこれまでの学習内容も参考に見てね。

子供が解決の方法を見通す

先生：求めることができた人は、ロイロノートの「提出箱」に提出してください。うまくいかない場合は、ほかの人の考えを参考にしたり、質問したりしてもいいですよ。

子供が課題解決まで試行錯誤を繰り返す、協働する

先生：牛肉と豚肉の販売量を求めることができた人は、チャレンジ問題にも取り組んでみましょう。

子供が自らの学びを振り返り、次に生かす

先生：今日の学習を振り返り、学んだこと、次に生かしたいこと、もっと調べてみたいことなどをまとめましょう。(ロイロノートで振り返りを提出させ、学びの可視化とともに蓄積を図る。)

(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

湧水町
教育委員会

小学校6年
算数科



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【知識及び技能】

比の意味や表し方を理解し、数量の関係を比で表したり、等しい比をつくったりすることができる。

【思考力、判断力、表現力等】

日常の事象における数量の関係に着目して、図や式などを用いて数量の関係の比べ方を考察し、それを日常生活に生かすことができる。

○ 工夫した点

主体的に課題に取り組むために、算数科の特性を生かして、「現実の世界」を意識し、日常生活との関連が深い学習課題を設定した。

今までの授業では…

【学習課題】

乳酸飲料水を作るのに、水120mLとこい乳酸飲料30mLを混ぜます。乳酸飲料が60mLあるとき、同じこさの乳酸飲料水を作るには、水を何mL用意したらよいですか。

【学習のめあて】

等しい比の性質を使って問題を解こう。

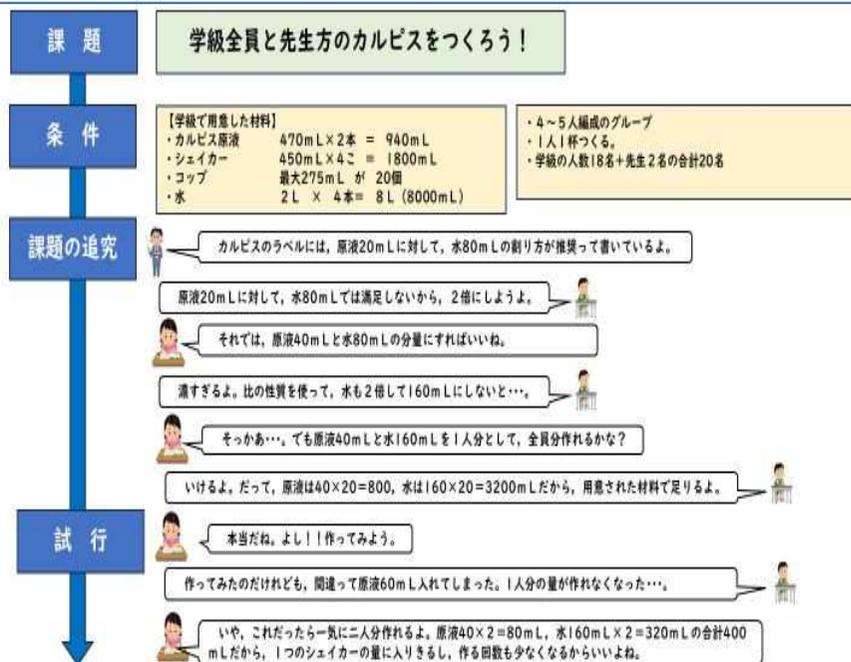
先生：水の量と濃い飲料水の量を、どのような関係にすればよいでしょうか。

児童：水と濃い飲料水を、120:30と同じ割合にすればよいと思います。

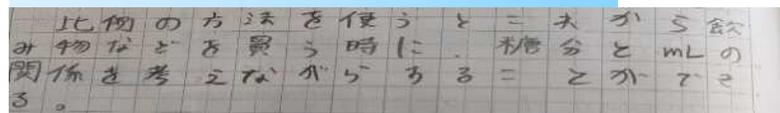
児童：水の量を求めたいので、それをxmLにして、考えてみました。

学習者主体で授業をデザインすると！

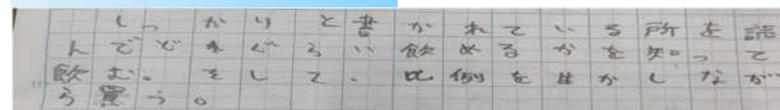
- 1 題材 比とその利用
- 2 本時の目標 与えられた条件の中で、比の性質を利用してカルピスをつることができる。



日常生活の場面で比例の考え方を活用して処理するよさ



算数の学習を自分事として捉える



振り返り

(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

鹿屋市
教育委員会

中学校3年
外国語



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【思考力、判断力、表現力等】

ALTに鹿屋市の魅力について分かりやすく紹介するために、※「かのや風土記」に記載されている内容を活用し、他者意識をもちながら、自分の考えや気持ちを適切に付け加えて伝えることができる。

※ かのや風土記：<https://www.city.kanoya.lg.jp/bunsin/hudoki.html>



○ 本市の学習者主体の授業の視点

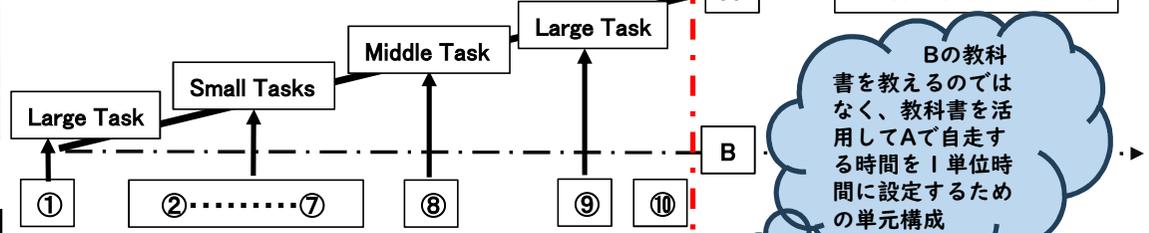
- 「学びに向かう力、人間性等」における、「主体的に学習に取り組む態度（評定）」「感性、思いやりなど（個人内評価）」の中でも、前者に具体的手立てを講じ、一体的に育まれる思考力、判断力、表現力等の育成を促進する。
- 「主体的に学習に取り組む態度」における「粘り強い取組を行おうとする側面」と「自らの学習を調整しようとする側面（自己調整）」に手立ての重点を置く。
- 学習を調整する3つの視点「自己調整学習」

コンテンツの視点： 普段の授業での「振り返り」を生かし、**既習事項（小中一貫）を関連付けて**、より深い理解やよりよい考えにつなげられるようにする視点

リソースの視点： 多様で異質なものを考えを組み合わせたり、補完したりして、協働してどのような課題にも努力し続け、**他者と関わりながら学びを深められるように**、学習の計画や環境を整え管理できるようにする視点（※ 他者は「ひと・こと・もの」を含む。）

プロセスの視点： 目的や目標に対する解決の見通しをもって、**必要に応じて試行錯誤しながら学習を進め、自己の学習を俯瞰する視点**
※ 普段の授業内での「振り返り」に加え、**主体的に学習に取り組む態度を評価するための「振り返り（記述・ライブコーディング）」の単元末への位置付け**

コンテンツの視点を取り入れた実践例 (小・中共通：単元構成)



- A** 自己課題設定に基づく学習者主体の学び（自由進度）
B 教科書題材等からの学び（自己課題解決に役立つ言語材料や表現等）
① 実際に⑨に挑戦し、理想と現状を阻む問題から、自己課題を見出す（単元の見通し）
②～⑦ 教科書題材の中にある言語材料や様々な表現に気づき、自己課題の解決に活用させる。
⑧ 単元内だけでなく、小中の既習事項を想起させ表現の幅を広げさせる。
⑨ 話すこと（発表・やり取り）を中心とした表現（目的・場面・状況等の明確な言語活動）
 ※ ALTインタビュー、タブレットライブコーディング、台湾とのオンライン等
⑩ 単元テスト、⑨の内容と関連のある書くことテスト、振り返り作文
 ※ 振り返り ○コンテンツの視点、リソースの視点、プロセスの視点が記載される項目
 ◎言語活動で工夫したこと「自己調整」は特に意識して書かせる。
 ※ 評価規準Bライン（条件）とAライン（条件プラスαの教科部内での共通理解）
C 学校での学びを鹿屋市主催のグローバル教育推進事業や英語弁論大会と接続
 ※ 学校での学びを生かして、英語を活用する場面と繋ぐカリキュラム・マネジメント

リソースの視点を取り入れた実践例（小・中共通：中間指導と内容理解）

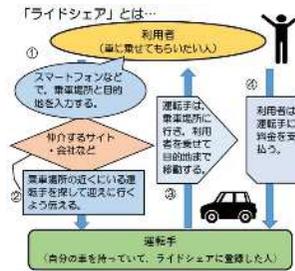
- A** 言語活動中に適切なリソースの視点を取り入れ、活動の促進を図る。
 かのや風土記活用（慣れ親しんだ題材をスキーマにし、調べ学習「ICT活用」が不要）
 自分の考えや気持ちを取り入れた言語活動がしやすい。
 難解な表現「古墳」などを、ALTの文化的背景（他者意識）をもたせながら、「ピラミッドのようなもの」といった表現の多様性が見られる。
- B** 言語活動を促進させる中間指導の設定（自走中でも意図的に時間をとる）
 モデル（児童・生徒・教師）提示、タブレットによるヒントカード配布
 ※ ポイントは、学習者に気付かせる指導
- B** 教科書本文の内容理解
 事実発問：本文中に答えがある。 推論発問：本文を根拠として答えを導く。
 評価発問：言語活動に繋がる、各児童生徒の考えや気持ちを引き出す。
 ※ タブレットでヒント（※写真参照）とともに送付することで、相互理解を深めている。

(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

垂水市
教育委員会

中学校3年
社会科



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【知識及び技能】

行政権の役割が拡大したことについて、具体的な事例を通して理解することができる。

【思考力、判断力、表現力等】

日本で全面的にライドシェアが解禁されるべきか、他国で認められている理由や解禁されたことで起こりうる問題について考え表現することができる。

○ 工夫した点

- 日本での規制緩和の事例から、その理由を資料や教科書、タブレット等から調べ、どこまで規制が緩和されるべきか考えさせる。
- ライドシェアの事例を取り上げ、他国で流行しているライドシェアが日本でも解禁されるべきか、根拠資料を基に自分の考えを作成し、議論させる。

今までの授業では…

【学習課題】

行政の役割はどのように変化してきたのだろうか。

先 生：政府の役割が広がるにつれ、行政の仕事も増えました。行政の役割はどのように変化してきたのでしょうか。

生徒A：政府の役割が広がっています。

先 生：「縦割り行政」や財政など多くの問題が発生します。

学習者主体で授業をデザインすると！

【学習課題】

規制緩和はどこまで認められるべきだろうか。

先 生：資料は行政改革関連年表です。何か気付いたことはありませんか。

生徒A：制度の廃止や、民営化などルールが緩くなっています。

先 生：そうですね。規則が緩んでいることを規制緩和といいます。今日はどのようなことを学習したいですか。

生徒B：なぜ規制緩和が進んでいるのでしょうか。

生徒C：ルールが緩くなりすぎではいけないし。規制緩和はどこまで認められるべきでしょうか。

子どもが自ら問いを発見する

先 生：では、教科書やロイロノートの資料、タブレット等何を使ってもいいですから調べてみましょう。

先 生：最近、日本でもライドシェアが解禁される地域が広がっているとのニュースをよく見ますね。なぜ、日本では全面的に解禁されていないのでしょうか。

子どもが解決方法を見通す

生徒A：アメリカでは流行しているみたいです。

生徒B：知らない人の車には怖くて乗れないよね。

生徒C：数年前白タクも問題になったよね。

先 生：日本でも全面的にライドシェアが解禁されるべきという考えがあります。是か非か。自分の考えを根拠を基に主張してください。

生徒D：私は解禁されるべきだと思います。日本に来日する外国人も増えているし、需要は大きくなっているからです。トラブルも自己責任でいいのではないのでしょうか。

生徒E：私は解禁しない方が良くと思います。やはり犯罪の恐れがあり、交通機関の経営が厳しくなる可能性も否めないからです。

先 生：それでは、ほかの人の考えを聞いてもう一度自分の考えを練り直してみましよう。

先 生：今日の学習を振り返り、学んだことやもっと調べてみたいことをまとめておきましょう。

子どもが自らの学びを振り返り、次に生かす

(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

曾於市
教育委員会

小学校5年
算数科



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【知識及び技能】

三角形の内角の和は180度であることや多角形の内角の和は三角形に分けて求められることを理解し、多角形の内角の和を求めることができる。

【思考力、判断力、表現力等】

三角形の内角の和を帰納的に見だし、三角形の内角の和を基に多角形の内角の和を考え、図や式を用いて演繹的にまとめることができる。

○ 工夫した点

子供が課題解決まで試行錯誤を繰り返し協働する

○ より発展的な課題を提示することによって、学ぶ意欲を高めるとともに、振り返りを通して、自己の学びのよさについて理解を深めるようにする。

○ より発展的な課題を解決するために、既習事項を拡張したり、現在の解決方法を一般化したりする活動に協働的に取り組む場面をつくる。

子供が課題解決まで試行錯誤を繰り返し協働する

今までの授業では…

【学習課題】

六角形の6つの角の大きさの和は、何度でしょう。



180度



?

先生：どうやって調べればいいと思いますか。

児童A：三角形の3つの角の大きさの和は180度なので、それが何個分かで考えればいいと思います。

先生：では、三角形何個分か、図にかいて調べましょう。

学習者主体で授業をデザインすると！

【学習課題】

百二角形の内角の和は、何度でしょう。

子供が自ら問いを発見する

先生：図にかくのも難しいですが、もし、百二角形があったら、内角の和は何度になるでしょう。

児童A：図にかけないなら求められません。

児童B：なんで百二？中途半端だな。

児童C：図にかかなくても求められる方法がありますか？

先生：きっと、この学習が終わるころにはみなさんは考え付くようになっていくと思います。

児童D：それなら早くやりたいです。

先生：じゃあ、現時点では、何角形なら求められそうですか？

児童E：六角形なら求められます。

児童F：七角形や八角形もできそうです。

先生：それでは、みなさんが「できそう」と思っている方法で求めてください。分らない人は、同じグループの友達に「ここ、どうすればいい？」とか求め終わった人は「何度になった？」と聞き合ってください。

子供が解決の方法を見通す

先生：六角形は、どうやって求めましたか？

*児童が図にかいて、六角形、七角形、八角形の内角の和の求め方を説明

先生：では、説明してくれた方法で百二角形の内角の和を求められそうですか？

児童G：今のやり方は、どうしても図をかかないとできないので、今の方法では、できません。

先生：今の方法を超える方法ってあるのかな？

児童H：調べた結果を表にまとめてもいいですか？

先生：どうして表にまとめたいと思いましたか？

児童G：何か、きまりのようなものが見つかりそうだからです。

児童I：そうだ！きまりがある！

先生：どうやら、今の方法を超える方法がありそうですね。グループのみんなで力を合わせて、今の方法を超えてください。

先生：何かよい方法を見つけたか？

*児童がn角形とできる三角形の数(n-2)について説明

児童B：そうか。だから、百角形ではなく、百二角形だったんだ。

児童J：先生、百二角形の内角の和を求めていいですか？

児童K：やった、できた。簡単だ。

児童L：本当だ。きまりを使えば、暗算で求めることができる。

児童M：今日も、こんなにすごい問題ができるようになった。諦めないでよかった。

児童N：きまりに気付けたのがよかった。

児童O：表にまとめたから、きまりに気付くことができたんだな。

子供が自らの学びを振り返り、次に生かす

(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

志布志市
教育委員会

小学校2年
国語科



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【思考力、判断力、表現力等】

かえるくん（登場人物）のしたことや言葉から、行動の理由や表情などを想像し、読み取ったことをもとに音読の仕方を考えることができる。

【学びに向かう力、人間性等】

単元の目標に向かって音読の仕方を工夫し、役になりきって音読劇に取り組もうとする。

○ 工夫した点

○ 「役になりきって音読劇をしよう！」というゴールに向かう目的を意識できるように、学習計画の確認と前時の板書を活用した振り返る活動を毎時間行った。

○ 音読劇の台本として活用するワークシートに、登場人物の気持ちが分かる言葉や行動に線を引く（着目）活動を取り入れ、「～と書いてあるから、～という気持ちだと思います。」と着目した言葉と想像した気持ちが分かるように発表する活動を取り入れた。

今までの授業では…

【学習課題】

お手紙を書くかえるくんの気持ちを読み取って、音読の工夫を考えよう。

先生：それでは、今回は第2場面の学習をします。誰が何をしているところですか。

児童A：かえるくんががまくんにお手紙を書いているところです。

先生：それでは、そのときのかえるくんの気持ちを考えて、2の場面をどのように読めばいいか考えていきましょう。

学習者主体で授業をデザインすると！

【学習課題】

お手紙を書くかえるくんの気持ちがつたわるには、どう音読したらよいだろうか。



先生：役になりきって音読劇をするには、どんな学習をしていけばよいでしょうか。

児童A：読み方を工夫する！

児童B：登場人物の気持ちに分かればいいと思う。

子供が自ら問いを発見する

先生：そうですね。では、誰のどんな気持ちを読み取ればいいのか確認するために、まずはこの場面を音読してみましょう。

(児童全員で音読)
子どもが主体的かつ学習の見通しをもてるように、めあてを立てる。

【読み取り後は、音読記号を使って、読み方の工夫を考える】

先生：第1時で見た音読劇のビデオをもう一度、見てみよう。

(単元の導入時に活用したモデルとなる音読劇を再度、鑑賞する。)

児童A：あわてている様子分かるように読むには、・・・

子供が解決方法を見通す（再確認する）

先生：どうしてここは「速く」読むのかな。

児童A：かえるくんががまくんのために急いでいる気持ちが伝わるためにです。

先生：かえるくんの気持ちが伝わっているか、近くの友達と読み合ってみてもいいですよ。

子供が課題解決まで試行錯誤を繰り返す、協働する

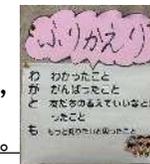
【振り返り】

先生：音読劇に一步近づけましたか。それでは、学習の振り返りをしましょう。

児童A：かえるくんの急いでいる様子分かるように、読めました。

先生：学習を振り返って、みんなで音読しましょう。

子供が自らの学びを振り返り、次に生かす



(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

大崎町
教育委員会

小学校6年
算数科



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【思考力、判断力、表現力等】

図形を構成する要素に着目し、構成の仕方を考察したり図形の性質を見いだしたりしながら、対象の概念を捉えることができる。

【学びに向かう力、人間性等】

図形の対称について学んだことを生活や学習に生かそうとする。

○ 工夫した点

- 自由進度学習を取り入れ、児童に「点対称の作図」の問題を中心に、自分のスピードで問題を解かせていく。個・ペアなど、自力解決や相談での解決のどちらの利点も示し、学習形態も児童に選択させる。
- 一人一人の進み具合を教師が把握するために、1時間ごとに進度のチェック表に記入させる。解き終わった問題は、ノートを写真で撮り、ロイロノートを使って教師に提出させる。

今までの授業では…

【学習課題】

点対称の中心は、
どうすれば求められるだろうか。

▶ 右の図は、点対称な図形です。
次の問題に答えましょう。

- ① 対称の中心を書きましょう。
- ② どのように対称の中心を求めたかを説明しましょう。



先生： 点対称の図形の中心は、どのようにすれば、見つめられるでしょうか。

先生： 一つの方法を見つけた人は、ほかの方法を考えましょう。

一人調べ 5分
グループ 15分
発表 10分

学習者主体で授業をデザインすると！

【学習課題】

つりあいのとれた形を作図するとき、どのような性質を利用してかいたのか、友達に説明しましょう。



一人で考える

友達と考える

先生：
基本問題を解いたら、解きたい問題から順に、自分のペースで解いていきましょう。
一人で考えても、友達に相談しても構いません。

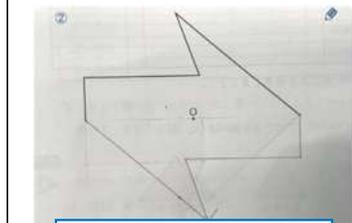


子供が課題解決まで試行錯誤を繰り返し協働する

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回
点対称の図形の中心を求めよう	一人で 高橋君						
点対称の図形の中心を求めよう	一人で 高橋君	一人で 高橋君					
点対称の図形の中心を求めよう	一人で 高橋君	一人で 高橋君	一人で 高橋君				
点対称の図形の中心を求めよう	一人で 高橋君	一人で 高橋君	一人で 高橋君	一人で 高橋君			
点対称の図形の中心を求めよう	一人で 高橋君	一人で 高橋君	一人で 高橋君	一人で 高橋君	一人で 高橋君		
点対称の図形の中心を求めよう	一人で 高橋君	一人で 高橋君	一人で 高橋君	一人で 高橋君	一人で 高橋君	一人で 高橋君	
点対称の図形の中心を求めよう	一人で 高橋君						

【チェックカード】

- 1時間で1問以上は進もう！
- 解いた問題は、どのような性質を利用したのかをノートに書いて、ロイロノートで提出。
- 自分の立てた計画より遅れたときは、家でやってもいいよ。
- スマイルステップで、教科の問題や計算ドリルなどの問題に取り組みましょう。
同じ考え方で解ける問題を見つけると、効率がいいね。



自力解決

利用した図形の性質を説明しましょう。

対称な2つの点を結ぶ直線を、大抵の中点を通り、対称な中心から対称な2つの点までの長さで等しい直線とする。

利用した性質の説明



振り返り

(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

東串良町
教育委員会

中学校3年
音楽科



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【知識及び技能】

日本の伝統音楽や世界の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解することができる。

【思考力、判断力、表現力等】

日本の伝統音楽や世界の諸民族の音楽の音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。

○ 工夫した点

- 教師が指定したロイロノートのシンキングツールを使うのではなく、生徒たちに選択させる。
- グループ活動では、役割分担を行い全員に役割を与えることで、全員参加型の主体的な活動を取り入れる。
- 振り返りでは、4つの観点のうち1つ以上記入し、40字以上60字以内で書くように文字数を指定し、メタ認知力や書く力を付ける。

今までの授業では…

【学習目標】 世界の諸民族の音楽を鑑賞しよう。

先生：今日は「世界の諸民族の音楽」を鑑賞します。世界には、いろいろな音楽があります。○○の○○という楽器があります。皆さんの知っているどんな楽器に似ていますか。

生徒：リコーダーに似ていると思います。

先生：そうですね。それでは、聴いて感想を書きましょう。

学習者主体で授業をデザインすると！

【本時の学習目標】
世界の楽器と日本の楽器の共通点と相違点を見つけてまとめよう。

子供が自ら問いを発見する

先生：この写真を見てください。世界各地には、さまざまな楽器が存在します。

生徒A：知らない楽器がたくさんあります。

生徒B：おもしろそうな楽器だな。○○っていう楽器なんだな。

先生：では、写真を見て、何か気付くことはありませんか。

生徒A：ギターや太鼓に似ている楽器があります。

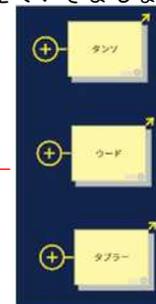
先生：今日は、世界の楽器と日本の楽器の共通点と相違点について考えていきましょう。

〔個〕
見通しの支援

先生：みんなで鑑賞をして、ワークシートに記入しましょう。楽器の構造や音色、奏法などを比較して鑑賞しましょう。

先生：どんな音楽の特徴がありましたか。この後、ロイロノートの音源カードなどを活用してもいいです。

子供が解決の方法を見通す



〔グループ〕
試行錯誤や協働の選択

先生：グループごとに担当する楽器を伝えます。シンキングツールは、まとめやすいものをグループでそれぞれ選んでください。

生徒A：○○の楽器は、穴の数が○つで、△△な感じがしたよ。

生徒B：穴の数は○○の楽器と一緒にだね。私は、○○のところは、△△な感じがしたよ。

生徒C：では、もう一度繰り返し聴いてみようよ。

子供が課題解決まで試行錯誤を繰り返す、協働する

〔全体〕
共有

先生：（グループごとに提出されたカードを集約し、ICTで可視化し、生徒と共有してから）○班発表をお願いします。

生徒A：世界でどんな風に楽器がつけられているのか、国や地域ごとの違いについてもっと知りたいと思いました。

生徒B：世界の伝統的な楽器には、日本の伝統的な楽器と似たものも多くて、古くからつながっているのかなと思った。

生徒C：世界にはさまざまな音楽や楽器があり、それらはその地域の暮らしや文化に基づいてつくられているということが分かった。

生徒D：世界にはいろいろな楽器があふれていて一つ一つに個性があって、これが多様性なんだなと思った。

子供が自らの学びを振り返り、次に生かす

(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

錦江町
教育委員会

小学校4年
算数科



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【知識及び技能】

長方形・正方形の面積の公式について理解し、必要な長さを測ったり、図形を求めやすい形に分けたり、引いたり、移動したりすれば求められることを理解することができる。

【思考力、判断力、表現力等】

学習した面積の公式に着目して、L字型や凹型などの図形の面積の求め方を考え、表現することができる。

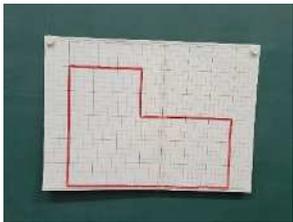
○ 工夫した点

- L字型の図形の面積を工作用紙で作成し、切ったり、動かしたり、タブレットを利用したりして、図形の面積を求める時間を十分に作る。(解決方法はいくつでも考えてよい)
- 友達の考えをタブレットで確認しながら、自分が見つけられなかった図形の面積の求め方を知り、考えを広めるようにする。
- 既習の公式を利用して求めることができる図形を作成し、友達同士で問題を出し合い、答え合わせまで行うようにする。

今までの授業では…

【学習課題】

次の図形の面積を求めるには、どうすればよいだろうか。



先生：長方形や正方形の面積を求める公式は何でしたか。公式を利用して、図形の面積を求めてみましょう。

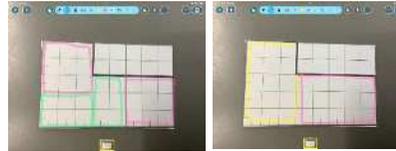
児童A：上と下、右と左で切ると求められます。

先生：式と答えを書いてみましょう。

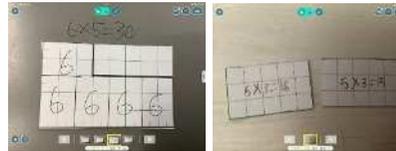
学習者主体で授業をデザインすると！

【学習課題】

L字型の図形の面積の求め方はいくつあるだろうか。



児童が自ら問いを発見する



児童が解決の方法を見通す

先生：何の形に見えますか？

児童A：L字形に見えます。

先生：L字型の面積ってもとめられるのかな。

児童B：この形、長方形に見えるな。

児童C：正方形もあるよ。

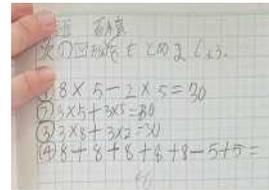
先生：色々な求め方ができそうですね。今日の学習のゴールはどうしますか。

児童D：色々な方法で図形の面積を求めたいです。

先生：工作用紙や資料箱にL字形を準備しています。色々な解決方法を見つけましょう。

先生：面積を求めるために、工作用紙、タブレットのどちらを使ってもよいですよ。友達同士の考えもロイロノートで共有できるようにしています。

児童が課題解決まで試行錯誤を繰り返す、協働する



児童A：上と下で切って分けたら、図形の面積を求めることができました。

児童B：左と右で分けて長方形で、求めることもできるよ。

児童C：大きい長方形から小さい長方形を引くこともできるよ。

先生：ある部分を動かして求めることもできそうですね。

児童D：見つけた。こんな方法もあるのか。

児童E：練習問題でやってみたいです。

児童F：先生、自分たちでも問題を作りたいです。

先生：次の時間に取り組んでみましょう。今日の学習をしっかり振り返った後に、どんな問題を作るか考えてみましょう。

児童が自らの学びを振り返り、次に生かす

(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

南大隅町
教育委員会

小学校5・6年
国語(複式)



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【知識及び技能】

話し言葉と書き言葉との違いに気付くことができる。

【思考力, 判断力, 表現力等】

互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い, 考えを広げたりまとめたりすることができる。

○ 工夫した点

- 5・6年生同じ議題で一緒に話し合うことで, 学習内容の系統性が明らかになるとともに, より一層異学年同士が協力したり, 学びあったりする複式学級のよさを生かすことができる。
- 練習の話し合いの様子をビデオで撮影し, 次時にそれを見ながらよりよい話し合い活動にしていくためのブラッシュアップを行う。

今までの授業では…

【学習課題: 5年】

たがいの立場を明確にして, 話し合おう。

【学習課題: 6年】

目的や条件に応じて, 計画的に話し合おう。

※ 5・6年別々に話し合いを行う。

先生: 話し合いを行うためには, どのような順序で進めていけばよいか。

児童A: (教科書に書いてある順序を発表)

先生: では, その順序で話し合いの準備をしていきましょう。

学習者主体で授業をデザインすると!

【学習課題】

前時の話し合いは, どこを改善するとさらにより話し合いになるだろうか?

先生: 前時では, 「学級みんなが本好きになるために, どんな取組をすればよいか」について話し合いました。今日は, どんな学習をするのでしょうか。

児童: (学習計画表を見てから) どうすればもっとよい話し合いになるか考えます。

児童A: 前時は, 議題の中に目的が入っている5年生の議題だね。

児童B: 5年生の議題だけど, 6年生は6年生の話し合いの目的を意識しないとけないね。

先生: いいところに気付きましたね。ではもう一度各学年の単元のめあてとゴールを確認しましょう。

先生: 今日の授業の中で, 自分自身が身に付けたいことをめあてとして書きましょう。

先生: では, 前時の話し合いの様子動画を見て, それぞれの学年の視点ごと, よかったところと改善した方がよいところをワークシートに記入しましょう。

児童A: 具体的な例を挙げていて分かりやすい。

児童B: 共通点に着目し, 発表の時に理由もしっかり言えている。

児童C: 相手の意見を受け止めず, まず否定から入っている人がいた。

児童D: 意見を広げる話し合いとまとめる話し合いがあいまい。

児童E: 話の内容が少しずれるときがある。

先生: 各自ワークシートに書いたことを基に, グループで話し合っ

てまとめてみましょう。

グループA: 質問の仕方を考えて, あまり発表できない人が発表できるようにする。

グループB: 話の内容がずれていると思ったときは注意する。ポイントを書いて, ずれないように注意する。

広げる話し合いをする前に, ゴールを決めておく。

出た意見を整理してから, まとめる話し合いに入る。

先生: それでは, 今日の学習を振り返りながら, 分かったこと, 次に生かしたいこと, 「なるほど」と思ったこと, 疑問に思ったことをまとめておきましょう。

子供が自ら問いを発見する

子供が解決の方法を見通す



子供が課題解決まで試行錯誤を繰り返す, 協働する



子供が自らの学びを振り返り, 次に生かす

(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

肝付町
教育委員会

中学校1年
理科



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【思考力, 判断力, 表現力等】

震源からの距離と初期微動継続時間との関係性について説明することができる。

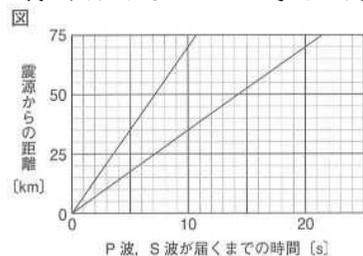
○ 工夫した点

- 実験装置から、生徒自身が気付いたことや疑問に感じたことを、本時の学習課題に設定する。
- 事前に具体的な評価規準の作成や課題を解決することが困難な生徒への手立て（ヒント動画等の作成）を考えておくことで、より効果的な支援を行う。
- 本時の活動の振り返りを行う場面で、生徒自身が新たな疑問をもち、次時の学習に生かすよう働き掛ける。

今までの授業では…

【学習課題】

地震の波と伝わり方について考えよう。



先 生: この図は、ある場所で発生した地震の震源からの距離とP波, S波が届くまでの時間との関係をグラフで表したものです。2つのグラフはP波, S波のいずれかを示しています。図を見てどのようなことに気付きますか。

生徒A: P波とS波の伝わる速さに違いがあると思います。

先 生: そうですね。Aさん、いいところに気付きましたね。この図から他にもわかることがありますよ。まずは、個人で考えてみましょう。

学習者主体で授業をデザインすると!

【学習課題】

震源からの距離と初期微動継続時間にはどのような関係があるのだろうか。



先 生: この実験装置を動かしてみて気付いたことはありませんか。

生徒A: P波の後にS波が伝わっていました。

生徒B: P波が伝わってからS波が伝わるまでの時間を初期微動継続時間っていうんですね。

先 生: そのとおりです。さすがBさん。よく覚えていましたね。では、何か疑問に感じたことはないですか。

生徒C: 震源からの距離が遠くなると初期微動継続時間がどうなるのか気になりました。

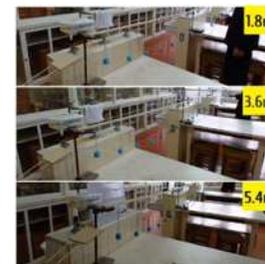
先 生: それでは、どうしたらその疑問が解決できますか。

生徒が自ら問いを発見する

【個→グループ】

試行錯誤や協働の選択

先 生: 実験結果から震源からの距離と初期微動継続時間にはどのような関係があるか考えてみましょう。考えがまとまらない人は、ロイロノートの「資料箱」のヒント動画や他の人の考えを参考に見てみましょう。



生徒が課題解決まで試行錯誤を繰り返す, 協働する

【グループ】

解決した課題の共有

先 生: 各自、考察をロイロノートに書いて提出してください。(ICTを活用し、電子黒板上で生徒の考察の共有を行う)

生徒が本時の学びを振り返り, 次時の授業に生かす

【個】

振り返り及び新たな疑問

生徒C: 震源からの距離が遠くなればなるほど、初期微動継続時間が長くなるのが分かりました。今度は地震がどのようなところで起こるか気になりました。

(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

西之表市
教育委員会

小学校6年
国語科



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【思考力、判断力、表現力等】

「やまなし」を読んで、作者の人生や作品の中の表現、対比から、作者がこめた思いについて、自分の考えをまとめることができる。

【学びに向かう力、人間性等】

表現や構成などに着目して作品の世界を捉えることに粘り強く取り組み、学習の見通しをもって自分の考えを書こうとする。

○ 工夫した点

- これまでの学習を基に自分の考えを整理させ、対話活動を通して友達のと比較したり、質問したりする活動を設定し、思考ツール等により考えを可視化することで、自分の考えを再構築できるようにする。
- 振り返りの視点を示した上で本時を振り返らせ、新しい学びや学びの変容を伝え合わせることで互いに共有できるようにする。

今までの授業では…

【学習課題】 作者がこの作品にこめた思いについてまとめよう。

先生：「やまなし」は、「五月」と「十二月」の二つの場面で構成されていて、この二つを対比しながら読んできました。「五月」に上から来たものは何でしたか。

児童A：かわせみです。

先生：そうですね。では、「十二月」に上から来たものは何でしたか。

児童B：やまなしです。

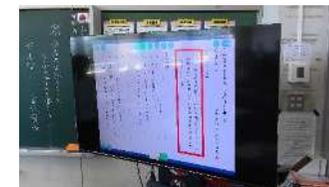
先生：今日は、宮沢賢治が「やまなし」にこめた思いについて考えましょう。

学習者主体で授業をデザインすると！

【学習課題】 作者がこの作品にこめた思いについてまとめよう。

先生：これまで、初発の感想から生まれた問いを基に学習計画を作成し、作者の人生、作品の中の表現、対比に注目しながら学習を進めてきました。今日はどんなことを学習してみたいですか。

児童A：作品にこめた作者の思いを考えます。

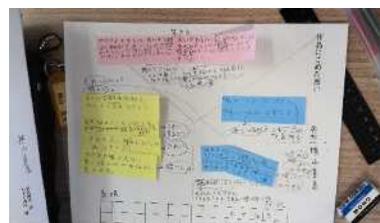


子供が自ら問いを発見する

先生：自分の考えを書くときに大切なことは根拠を明確にすることでしたね。これまでの学習でワークシートに書きためた付箋を参考にしてみてください。

〔個〕
見通しの支援

子供が解決の方法を見通す



〔グループ〕
対話を通しての考えを比較し、自分の考えを再構築する

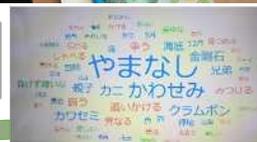
先生：友達のと考えで共感したり、新たに気付いたりしたことは、メモに残して、自分の考えに生かせるようにしましょう。

子供が課題解決まで試行錯誤を繰り返す(協働する)



児童B：読み手の想像力が働くから・・・
児童C：イーハトーブもつなげているかもね。
児童B：やまなしの内容の考察をしたときに、オリジナルの言葉をいっぱい入れている。
児童C：オリジナル…かぶかぶ、クラムボン、オノマトペとか。表現とイーハトーブもつなげることで、いろんな想像力が増すということだね。

〔全体〕
振り返り



先生：学習初めの「やまなし」のイメージとこれまで学習してきたイメージは、こんなに違っていますね。皆さんの見方・考え方が変わってきたということですね。

先生：なぜ、見方・考え方が変わってきたんだろうね。この学習を通して、どんなことが学べたのだろう。

子供が自らの学びを振り返り、次に生かす

(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

中種子町
教育委員会

小学校4年
理科



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【知識及び技能】

水のしみ込み方は、土の粒の大きさによって違いがあることを理解することができる。

【思考力、判断力、表現力等】

土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想を発想し、得られた結果を基に考察し表現することができる。

○ 工夫した点

- 単元当初、晴天時と雨天時の校庭の動画をもとに、雨水の行方について気付いたことや疑問に思ったことを話し合い、「流れる」「たまる」「しみ込む」「かわく」など調べたいことを焦点化し、問題を見いだせるようにする。
- 学びを振り返り、更なる習熟を図るために、駐車場に砂利が敷いてある画像を提示し、駐車場にされている工夫を理由と共に説明する場面を設け生活経験と結びつけて理解を深める。

今までの授業では…

【学習課題】

土やすなのつぶの大きさによって水のしみこみ方にちがいのがあるのだろうか。



砂場の砂：大きい
校庭の土：小さい

先生：校庭の土と砂場の砂はどちらがつぶが大きいですか。
 児童A：砂場の方が大きい。
 先生：水のしみこみ方に違いがあると思いますか。
 児童B：つぶが大きいから砂場の方が速いと思う。
 先生：では、つぶの大きさによって水のしみこみ方にちがいのがあるか調べていきましょう。

学習者主体で授業をデザインすると！

【学習問題】

土やすなのつぶが大きいほど水ははやくしみこむのだろうか。



子供が自ら問いを発見する

先生：このことを調べるにはどんな実験をすればよいですか。
 児童A：校庭の土と砂場の砂に水を入れてどちらが早くしみこむかを調べればよい。
 先生：土や砂、水の量ははどうしたらいいかグループで話し合いましょう。
 児童B：全部同じ量にしないとイケないね。
 児童C：どうして。
 児童D：だって、量が違ったら、正しい結果が出ないよ。
 先生：量が違ったらどうなるの。
 児童E：量が違うとくらべられないね。

子供が課題解決まで試行錯誤を繰り返す、協働する

児童A：同時に入れるよ。セーの。
 児童B：やっぱり砂場の方がはやいね。
 児童C：つぶが大きいとつぶの間にすきまができるんだらうね。
 先生：どんな結果になりましたか。
 児童A：砂場が速かった。
 先生：このことから何がわかりますか。
 児童B：つぶが大きいほど水がしみこむのが早い。
 先生：では、駐車場の写真を見てみましょう。どんな工夫がされていますか。
 児童C：水たまりができてくなくなっている。



子供が自らの学びを振り返り、次に生かす

先生：この写真を見て何か気付くことはありますか。
 児童A：校庭には水たまりがあるけど、砂場には水たまりがない。
 児童B：砂場は水がしみこんで、校庭は水がしみこまなかった。
 先生：どうして。
 児童C：土と砂は違うから。
 先生：土と砂は何が違うの。
 児童D：種類。色。石。大きさ..
 児童E：調べてみよう。
 〈校庭の土と砂場の砂を虫めがねで観察する。〉
 児童A：校庭の土は、つぶが小さいね。色もちがうよ。
 児童B：触るとざらざらするよ。砂場の砂はつぶが大きいよ。つぶの大きさも違いがあるね。
 児童C：砂場には水たまりがなかったからつぶが大きいと水が速くしみこむのかな。
 児童D：つぶが大きいとすきまができてきそうだね。
 先生：問題ができましたね。

子供が解決の方法を見通す

(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

南種子町
教育委員会

小学校5年
社会科



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【思考力, 判断力, 表現力等】

自動車の輸出や原油の輸入に関する資料から読み取ったことをもとに、日本と外国との貿易関係についての学習問題をつくり、表現することができる。

【学びに向かう力, 人間性等】

日本と外国との貿易関係について予想し、それをもとに学習計画を立て、主体的に追求しようとする。

○ 工夫した点

- 複数の資料から、自動車の主な輸出国名や台数、また原油を輸入に依存している現状を読み取らせていく。その際、地図や地球儀を活用し各国との距離や方位などを確かめながら、児童が関心や疑問をもてるように支援していく。

今までの授業では…

【学習課題】

日本で生産された自動車は、どこへ輸出されているのだろうか。

- 先生：日本の自動車は、外国に輸出されています。どのような国へ運ばれているか調べましょう。
- 児童A：台数はアメリカ合衆国が最も多いです。オーストラリアや中国も多い。ヨーロッパやアラビア半島の国々にも輸出していますね。
- 先生：では、自動車の輸出の現状から日本と世界各国との結びつきに着目して学習問題をつくりましょう。

学習者主体で授業をデザインすると！

【学習課題】

2つの資料を見て、分かることや疑問に思うことはどんなことだろう。



2 【資料①：日本の自動車の主な輸出先】



【資料②：国内で使う原油にしめる輸入の割合, 原油タンクとタンカー】

- 先生：では、これからみなさんは、どんなことについて調べたいですか。
- 児童A：日本が輸入しているものや輸出しているものについて調べたいです。
- 先生：そうですね。この輸入や輸出のように国と国との間で品物売り買いすることを「貿易」といいます。では、これからの学習で、日本が行っている貿易について調べ、学習していきましょう。

- 先生：この2つの資料は、何の資料でしょう。
- 児童A：日本の自動車の主な輸出先の資料と国内で使う原油にしめる輸入の割合の資料です。
- 先生：さて、この資料を見て何か気付いたことや疑問に思ったことはありませんか。
(一人調べ：ノートにまとめる)
みなさんで気付いたことを交流しましょう。

子供が自ら問いを発見する

- 児童B：アメリカ合衆国への輸出量が一番多いです。
- 児童C：いろいろな国に日本の車が輸出されていることが分かります。
- 児童A：日本で使われている原油はほぼ全て輸入されたものなんだ。
- 先生：では、疑問に思ったことも交流してみましょう。
- 児童B：どうしてアメリカ合衆国への車の輸出がこんなに多いのかな。
- 児童C：車の他に、日本が外国に輸出しているものは他にどんなものがあるのかな。
- 児童D：原油は、99.7%が輸入されているようだけど、どこの国から輸入しているのかな。
- 児童A：他にも外国から輸入しているものはたくさんありそうな気がする。

子供が解決の方法を見通す

(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

屋久島町
教育委員会

中学校1年
国語



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【知識及び技能】

音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむことができる。

【思考力、判断力、表現力等】

「読むこと」において、描写をもとに場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、捉えることができる。

○ 工夫した点

- 学習課題に生徒が身に付けるべき資質・能力、必要な思考方法、言語活動を入れて設定することで、生徒が学びを見通せるようにした。
- 新聞記事等を言語活動に取り入れ実の場に結び付くようにした。
- 授業の初めに読みの視点＝評価の視点を示すことで、生徒が学びの位置を確認し、次の課題を見出せるようにした。

今までの授業では…

【学習課題】

竹取物語の内容を理解しよう

古典学習においては、訓詁注釈に偏った授業が多いと思われる。

先生：古文の部分を、現代語訳してみよう。いと」とはどのような意味ですか？

生徒A：「いと」は「とても」という意味です。

生徒が自分の問いと学びを振り返り、次に活かす

学習者主体で授業をデザインすると！

【学習課題】この単元では、「竹取物語」を読んで、登場人物の心情の変化を捉える学習をします。課題は、古文中に表現された行動描写やセリフから心情を推察し、随想「○○の気持ち」を書くことです。

生徒が問いを立てるポイントを見付ける

先生：私が作成したモデルを分析してみましょう。どんなことを書いたら良さそうですか？

生徒A：ん～一段落目は、出来事の前に気持ちかな？

生徒B：二段落目は…？出来事後の気持ちだ。

生徒A：でも「」もあるよ。これは何かな？

先生：「」は古文中の言葉だね。これを引用とします。文中の言葉を根拠にするといいですよ。今回の単元での学習は心情の変化を学習するね。変化を捉えるには、出来事に着目して、その前と後の心情を読み取る必要があります。じゃあ、これを読み目の視点にしましょう。そして、評価の視点にもなります。

このことを踏まえて、《私の問い》を立ててみましょう。

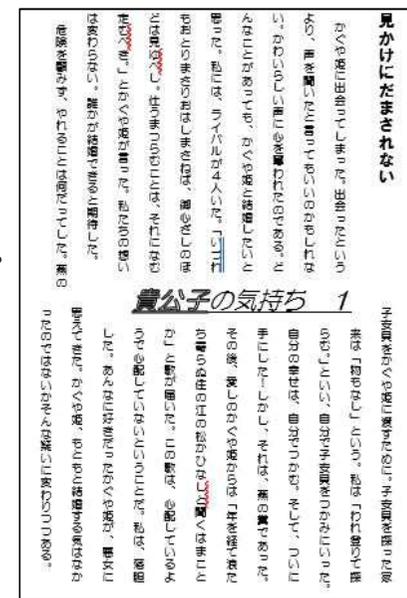
生徒A：翁は、なぜ「何しに、悲しき見送り奉らむ。」と言ったのだろうか？

生徒B：この言葉に着目すると、翁がかぐや姫との別れに悲しみを感じてはいるよね。

生徒A：確かに悲しみはあるけれど、この部分に着目すると、愛する我が子が子との別れに対する「怒り」みたいなものも感じるよね。

生徒B：そっか！翁は、「怒り」から「悲しみ」に気持ちが変わったんだね。

先生：今日の時間を視点を確認して振り返ってみましょう。振り返る視点は、着目した言葉とできたこと（できなかったこと）、分かったこと（分からなかったこと）、次に解決したいことですよ。



【三つの読み（評価）の視点】

- ① 古文中の引用
- ② 出来事前の心情
- ③ 出来事後の心情

《私の問い》を個人やペアで解決している

問い	振り返る視点	できたこと	できなかったこと	次に解決したいこと
「いと」とはどのような意味ですか？	「いと」とは「とても」という意味です。	「いと」とは「とても」という意味です。	「いと」とは「とても」という意味です。	「いと」とは「とても」という意味です。
翁は、なぜ「何しに、悲しき見送り奉らむ。」と言ったのだろうか？	この言葉に着目すると、翁がかぐや姫との別れに悲しみを感じてはいるよね。	この言葉に着目すると、翁がかぐや姫との別れに悲しみを感じてはいるよね。	この言葉に着目すると、翁がかぐや姫との別れに悲しみを感じてはいるよね。	この言葉に着目すると、翁がかぐや姫との別れに悲しみを感じてはいるよね。
確かに悲しみはあるけれど、この部分に着目すると、愛する我が子が子との別れに対する「怒り」みたいなものも感じるよね。	確かに悲しみはあるけれど、この部分に着目すると、愛する我が子が子との別れに対する「怒り」みたいなものも感じるよね。	確かに悲しみはあるけれど、この部分に着目すると、愛する我が子が子との別れに対する「怒り」みたいなものも感じるよね。	確かに悲しみはあるけれど、この部分に着目すると、愛する我が子が子との別れに対する「怒り」みたいなものも感じるよね。	確かに悲しみはあるけれど、この部分に着目すると、愛する我が子が子との別れに対する「怒り」みたいなものも感じるよね。
そっか！翁は、「怒り」から「悲しみ」に気持ちが変わったんだね。	そっか！翁は、「怒り」から「悲しみ」に気持ちが変わったんだね。	そっか！翁は、「怒り」から「悲しみ」に気持ちが変わったんだね。	そっか！翁は、「怒り」から「悲しみ」に気持ちが変わったんだね。	そっか！翁は、「怒り」から「悲しみ」に気持ちが変わったんだね。
今日の時間を視点を確認して振り返ってみましょう。振り返る視点は、着目した言葉とできたこと（できなかったこと）、分かったこと（分からなかったこと）、次に解決したいことですよ。	今日の時間を視点を確認して振り返ってみましょう。振り返る視点は、着目した言葉とできたこと（できなかったこと）、分かったこと（分からなかったこと）、次に解決したいことですよ。	今日の時間を視点を確認して振り返ってみましょう。振り返る視点は、着目した言葉とできたこと（できなかったこと）、分かったこと（分からなかったこと）、次に解決したいことですよ。	今日の時間を視点を確認して振り返ってみましょう。振り返る視点は、着目した言葉とできたこと（できなかったこと）、分かったこと（分からなかったこと）、次に解決したいことですよ。	今日の時間を視点を確認して振り返ってみましょう。振り返る視点は、着目した言葉とできたこと（できなかったこと）、分かったこと（分からなかったこと）、次に解決したいことですよ。

(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

奄美市
教育委員会

中学校2年
理科



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【思考力、判断力、表現力等】

実験の結果を踏まえて、酸化銅から銅ができたことを説明することができる。

【学びに向かう力、人間性等】

これまで習得した知識を用いて、酸化銅を還元する物質として何が有効であるかモデルを用いて考えようとする。

工夫した点

- 課題意識を高め、課題追究の見通しをもてるために、既習事項を用いて思考できるように単元の指導計画をマネジメントする。本時では、前時に、二酸化炭素とマグネシウムを用いた「還元」の学習を位置付ける。
- 既習事項と自然界の鉱石から金属を取り出すこととを関連付けられる事象提示を行う。
- 生徒の考えを生かした主体的な探究とするために、実験の目的を明確にした上で、既習の知識を用いて、酸化銅を還元する方法について企画する場や、その方法にした根拠を説明する活動を取り入れる。

今までの授業では…

【学習課題】

- ・ 酸化銅に炭素を入れて熱したら、どうなるだろうか。
- ・ 酸化銅に炭素を入れて、還元してみよう。

教師：酸素と銅が結び付いた物質を酸化銅と言ったよね。今日は、反対に、酸化銅から酸素を取りのぞいてみましょう。

生徒A：どうするのかな。

教師：炭素を入れて熱したとき、酸素が取り除かれるか確かめましょう。

生徒B：炭素で酸化銅を還元する実験をするんだな。

学習者主体で授業をデザインすると！

【学習課題】

酸化銅を還元するには、どうしたらよいだろうか。



教師：(写真と化学式を提示しながら)自然界の岩石に酸化物が入っているけど、何か気付くことはありませんか。

生徒A：銅やアルミニウム、鉄の化学式があるね。

生徒B：全部、酸素が入っているよ。

教師：酸化物のままでは、金属として使えないけどどうしたらいいでしょうか。

生徒B：金属だけ、取り出すといい。

生徒C：酸素を取り除いたら金属だけ残るんじゃないかな。

生徒A：前時で学習した還元を考えようだよ。

子供が自ら問いを発見する

子供が解決の方法を見通す

子供たちが(既習の知識を用いて)協働する

教師：酸化銅を還元するには、何と結び付けたらいいのか、考えてみましょう。

化学反応式やモデルを使いながら考えてもいいですよ。

生徒A：銅より酸化しやすいものとくっつけるといいかもね。

生徒C：炭素と結び付けてもいいと思うよ。

生徒B：私たちの班は、水素でもいいと考えたよ。

教師：どうして、そう考えたの？

生徒F：銅より酸素とくっつきやすいから。

子供が解決の方法を見通す

教師：炭素と水素、それぞれを酸化銅と熱したらどうなりそうですか。

生徒A：炭素は銅と二酸化炭素ができて、水素は銅と水ができるよ。

教師：銅になったと言えるには、どうなればいいのか。

生徒C：色が変わる。こすると光沢も出る。

教師：では、自分たちで考えたことを確かめてみましょう。

子供が(明確な見通しをもって)試行錯誤を繰り返す

生徒A：黒色の物質が茶色になったことから銅ができたと考えられるね。

生徒B：試験管内に液体が発生したことから水ができたと考えられるね。

教師：事実から考えることができましたね。自分たちの結果の見通しと比べてどうでしたか。

生徒C：自分たちで予想した結果の見通しを同じになりました。

教師：それでは、自分の学びについて、分かったことや役に立った考え方などを振り返ってみましょう。

子供が自らの学びを振り返り、次に生かす

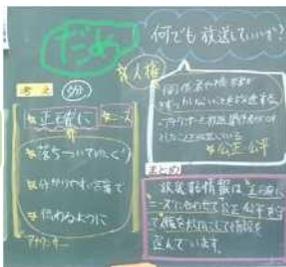
(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

大和村
教育委員会

まとめまで
子供たちが板書

小学校5年
教科 社会



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【思考力、判断力、表現力等】

ニュース番組で放送する情報の決め方について、問いを見だし、資料の情報を読み取って自分の考えもち、考えを交流して、情報を発信するときに大切なことについて考えることができる。

【学びに向かう力、人間性等】

発信される情報について学習したことを社会生活に生かそうとする。

○ 工夫した点

- 学習課題について調べるための資料や考えを表現するツールを複数準備し、子供自身で選択できるようにする。
- 考えを共有ノートで交流し、大切なことやキーワードを明確にする。
明確になったキーワードなどをもとに、子供たち自身でまとめを行うことができるようにする。
- 「正確であれば何でも放送してよいか」を考えさせ、更に情報を伝え方について理解を深め、情報を受け取る側として大切にすることを考えさせる。

今までの授業では…

【学習課題】

放送局は、集めた情報をどのようにまとめ、ニュース番組にして放送しているのでしょうか。

先生：放送局がどのようにしてニュース番組をつくっているか調べてきました。前の時間は何について調べたかな。

児童A：取材について調べました。

先生：じゃあ今日は、編集と放送について調べましょう。

学習者主体で授業をデザインすると！

【学習課題】

放送する情報を、どのように決めて、放送しているのだろうか。

子供が解決の方法を見通す

先生：（解決のための学習の見通しを子供と話し合いながら、学習活動や時間を板書する。）

児童：編集している人や番組を放送する人の話が聞きたいね。

先生：教科書や資料集に編集や放送に携わる人の話がありますよ。ロイロノートの資料箱にも資料や動画があります。

子供が課題解決まで試行錯誤を繰り返す、協働する

児童A：もう話し合ってもいいかな。調べて考えたことを共有ノートにかきましよう。

児童B：「分かりやすく、正確に」が大事だね。

児童C：役立つ情報が多いね。視聴者のニーズに応えることも大切にしているよ。

先生：正確で役立つ情報だったら放送しているんだね。

児童D：なんでも放送していいのかな。

（再度、資料を調べる）

児童D：関係者や被害者が傷つかないことを考えて放送しているよ。

児童B：放送関係者とアナウンサーの両方がOKしたことを放送するようにしているんだね。

児童A：公正・公平というキーワードが書かれていたよ。

（考えの比較や検討を行い、キーワードなどを明確にしながら、ガイドを中心に全体のまとめを行う。）

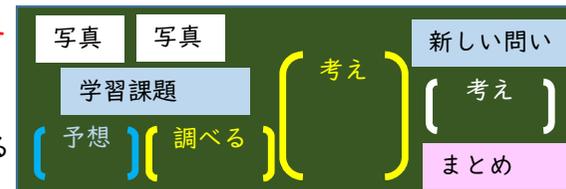
児童A：「正確」「役立つ」「視聴者のニーズ」「公正・公平」がキーワードだね。

児童B：私は、「人権」という言葉も入れたいな。

先生：今日の学習を振り返って、学んだことやこれから生かしたいことをまとめましょう。（板書を写真に撮り、ロイロノートで自分の振り返りをするなど→）

子供が自ら問いを発見する

先生：多くの取材スタッフから大量の情報が集まるね。
児童A：放送する情報をどうやって決めているのかな。



子供が自らの学びを振り返り、次に生かす



(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

宇検村
教育委員会

中学校1年
社会科(地理)



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【知識及び技能】

熱帯地域の生活が外国の生活様式や観光開発によって変化していることを理解することができる。

【思考力、判断力、表現力等】

熱帯地域の雨温図や分布図、衣食住の写真を読み取り、熱帯の気候の特色を理解するとともに、生活の特色を考察し、表現することができる。

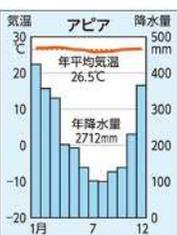
○ 工夫した点

- ① 予習を取り入れ、疑問点や分からないことを明確にして授業に臨ませる。
- ② 「地理的な見方・考え方シート」を使用して、学習課題を生徒自身に設定させる。
- ③ 思考ツールを使い、熱帯地域の生活の特色を衣食住の観点で自分でまとめさせる。ロイロノートの共有ノートを用いて学習状況を把握し、必要に応じて支援する。
- ④ 単元シートを活用し、単元全体や1単位時間の学びを生徒自身に振り返らせる。

今までの授業では…

【学習課題】

熱帯地域の生活にはどのような特色があるだろうか。



出典：新しい社会 地理(東京書籍)

先生：今日は熱帯地域について学びます。雨温図からどんな特徴を読み取ることが出来ますか。

生徒A：気温が高く、降水量が多いです。

先生：そのとおりです。それでは、熱帯地域の生活には、どのような特色があるか、衣・食・住の観点からそれぞれ学習していきましょう。

学習者主体で授業をデザインすると！

【学習課題】

熱帯地域の人々はどのような生活をしているのだろうか。また、それはなぜだろうか。
(※生徒自身で設定するため、上記は一例である)

子どもが自ら問いを発見する(工夫①・②)

先生：今日は熱帯地域について学習します。予習で疑問点や分からないことがありましたか。

生徒A：なぜ、いも類が主食なのですか。なぜ、高床の家なのですか。

先生：良い疑問ですね。授業で解決できるといいですね。予習や疑問点などを踏まえて今日の学習課題を自分で立ててみましょう。必要に応じて、地理的な見方・考え方シートを参考にしてください。

子どもが自らの学びを振り返り、次に生かす(工夫④)

先生：熱帯地域の人々がどのような生活をしているか、衣食住の観点からまとめることができたとお思います。自分で立てた学習課題に対するまとめや単元を貫く学習課題につながる内容を単元シートに記入しましょう。

生徒A：他の気候帯で生活する人々の生活にはどのような特色があるのだろうか。

☆ 地理的な見方・考え方を働かせた「問い」の考え方 ☆

☆ 自分なりの「問い」を立てられるように「5W1H」を踏まえて考えてみましょう。☆

※ 「5W1H」＝「When(いつ)、Where(どこで)、Who(誰が)、What(何事)、Why(なぜ)、How(どのように)」

観点	問い	問いの意図
① 位置や分布	○ 〇〇は「どこ」にあるのだろうか。 ○〇は「いつ」からあるのだろうか。 ○ 〇〇の位置は「どのように」変化するのだろうか。 ○〇は「なぜ」そこにあるのだろうか。 ○ 〇〇は「どのように」広がっているのだろうか。 ○〇は「どこ」に広がっているのだろうか。 ○ 〇〇は「なぜ」そのように広がっているのだろうか。 ○〇は「誰」が広がっているのだろうか。	
② 場所	○ 〇〇(気象・人口・資源など)が多い(少ない)場所は「どのような」特色があるのだろうか。 ○ 〇〇(気象・人口・資源など)が多い(少ない)場所では「どのような」課題や対策をしているのだろうか。 ○ 〇〇(場所)と〇〇(場所)には「どのような」共通点や相違点があるのだろうか。 ○ 〇〇(場所)は、「なぜ」〇〇(気象・人口・資源など)が多い(少ない)特色があるのだろうか。	
③ 人間と自然の相互関係	○ 〇〇の生活は、自然環境から「どのような」影響を受けているのだろうか。 ○ 〇〇では、環境問題を防ぐために「どのような」対策を行っているのだろうか。 ○ 〇〇では「なぜ」環境保全が行われているのだろうか。	
④ 国家的発展や都市	○ 〇〇は、他の〇〇(国や地域など)と「どのように」結びついているのだろうか。 ○ 〇〇では、交通網の発達によって「どのような」発展がもたらされたのだろうか。 ○ 〇〇では「なぜ」ヒトやモノ、モノの動きが活発になったのだろうか。 ○ 〇〇(国や地域、地域)では「なぜ」結びつきが深まっている(深まっている)のだろうか。	
⑤ 地域	○ 〇〇(地域)では、「どのような」特色(地理・気候・自然・産業・伝統文化・人口・交通など)があるのだろうか。 ○ 〇〇(地域)と〇〇(地域)には「どのような」共通点や相違点があるのだろうか。 ○ 「なぜ」〇〇(地域)ならではの特色(地理・気候・自然・産業・伝統文化・人口・交通など)があるのだろうか。 ○ 〇〇(地域)は「なぜ」変化してきたのだろうか。 ○ 〇〇(地域)は「どのような」地域にすべきだろうか。	

子どもが課題解決まで試行錯誤を繰り返す、協働する(工夫③)

生徒A：予習での疑問点を踏まえて「食→住→衣」の順番で調べてまとめよう。(生徒が順番を選択)

先生：教科書や資料集以外にも、ロイロノートでWebカード(衣食住に関するwebサイトや動画)を配付しているので、必要に応じて使用してください。

学習記録

今日の授業で大切に思ったことや考えたこと、疑問に感じたことを単元を貫く学習課題を整理して書きましょう！

単元を貫く学習課題

世界各地の人々の衣食住は、なぜ多様な特徴が現れるのだろうか。

本時の授業で一番大切だと思ったことや感想、疑問を記入する。教師はそれに対するフィードバックを行う。

生徒からのコメント

単元全体を通して、学習前後での考えの変化や深まり、新たな疑問など自己の学びを振り返る。

(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

瀬戸内町
教育委員会

小学校3・4年
複式指導 算数



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【思考力、判断力、表現力等】

- ・ 3年生 (2, 3位数) × (1位数) の計算の仕方を、具体物や図、式を用いて表現して考えることができる。
- ・ 4年生 広さを数値化する方法、広さに応じた面積の単位や求め方を考えたり、面積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考えたりすることができる。

○ 工夫した点

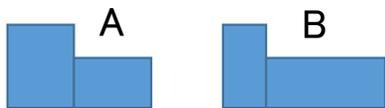
- 各学年の発達段階に応じて、学習の手引きを活用し、児童が主体的に学習を進めるガイドを育成する。
- 「かくにん対話」「いけんこうかん対話」「ねりあげ対話」の3つの対話・話型を用いて、対話活動を充実させることで、児童の考えを深める。



今までの授業では…

【4年生学習課題】

面積の大きさを比較するには、どのようにすればよいだろうか。



- 先生：今日は、図形Aと図形Bの面積が、どちらが大きいかを考えたいと思います。みなさん、図形Aと図形B、どちらが大きいと思いますか。
- 児童A：図形Aの方が大きいと思います。
- 先生：どうして図形Aの方が大きいと思いましたか。
- 児童A：見た感じが大きいと思ったからです。
- 先生：それぞれの辺の長さを計って調べてみましょう。

学習者主体で授業をデザインすると！

【4年生学習課題】

諸鈍小学校の校舎の面積と伊子茂小学校の面積では、どちらが大きいだろうか。

「ずらし」の時間

【3年生学習課題】

繰り上がりのある計算は、どのようにすればよいだろうか。

子供が自ら学習を見通す

ガイド：はじめに、前の時間学習した、3ケタのかけ算について、学習します。まず、復習問題に取り組みます。始めてください。

児童C：できました。答え合わせをします。

先生：はい、答え合わせまでできましたね。しっかりできていますね。では、この問題は どうでしょう。「かくにん対話」をしてください。

児童D：あ、繰り上がりがある計算ですね。

児童E：ちょっと難しくなってる。

先生：そうですね。繰り上がりがあるので、筆算で解くときは、どのようにすればよいでしょうか。まず自分で考えてみよう。

子供が自ら対話したくなる問い

先生：先日訪問した、伊子茂小学校の校舎と、諸鈍小中学校の校舎は、どちらの校舎が大きいと思いますか。

児童A：クラスの数が同じだから、そんなに変わらない気がします。

児童B：でも、ちょっと諸鈍が大きい気がします。

先生：2つの校舎の大きさをどうやって調べたら良いと思いますか。

児童A：長さを調べたら良いと思います。

児童B：また伊子茂小学校まで行かないと行けないよ。

先生：それは大変だね。そこで、インターネットの地図を利用して、同じ縮尺の諸鈍小学校と伊子茂小学校の地図を準備しました。

先生：これは大変だね。そこで、インターネットの地図を利用して、同じ縮尺の諸鈍小学校と伊子茂小学校の地図を準備しました。これを使って面積を比べるためには、どのようにしたらよいですか。各自で考えてください。

児童A：面積を求めて比べてみたら良いね。

児童B：1cm²がいくつ入るかを調べてみたら良いね。

先生：どの図形でもできる方法は、他にありませんか。「いけんこうかん対話」をしてください。

子供が課題解決するまで試行錯誤を繰り返し、協働する



児童が対話の中で思考を深めている場面

教師の見届け・支援

- ・ 児童が自ら考える場面や、児童間での対話する場面を確保する。
- ・ 教師が児童の思考を妨げるような不必要な説明や発問をしない。



教師が児童の対話や学習活動を見届けている場面

(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

喜界町
教育委員会

中学校1年
理科



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【知識及び技能】

状態変化によって、質量は変化しないが体積は変化することを理解することができる。

【思考力、判断力、表現力等】

状態変化によって、質量は変化しないが体積は変化することを見だし、粒子のモデルを用いて説明することができる。

○ 工夫した点

- 「目標の明確化」では、エタノールを状態変化させる事象提示を見せることによって、状態変化に対しての疑問や調べてみたいこと等を引き出し、生徒に興味・関心をもたせて学習意欲につなげるようにする。
- 「山場の工夫」では、根拠（実験結果）をもとに理由付け（粒子のモデルで可視化）して主張（考察）するために、タブレット端末を活用して効率よく他者と考えを共有できるようにする。
- 「確かめ・見届け」では、学習課題に対応するまとめを自分の言葉で表現する時間や本時の振り返りを行う時間を確保し、学習したことの意義や価値を実感できるようにする。

今までの授業では…

【学習課題】

物質が状態変化するとき、体積や質量は変化するだろうか。

- 先生：今日はエタノールとロウを状態変化させる実験を行います。体積や質量が変化するか考えてみましょう。
- 生徒A：体積は変化しますが、質量は変化しないと思います。
- 先生：では、実験してみましょう。

学習者主体で授業をデザインすると！

【学習課題】

物質が状態変化するとき、体積や質量はどのようなのだろうか。



子供が自ら問いを発見する

- 先生：エタノールを入れたポリエチレン袋に湯をかけてみます。
気付いたことや疑問はありませんか。
- 生徒A：袋が膨らみました。温度が高くなると体積が大きくなるのかなと思いました。
- 生徒B：袋の中のエタノールが見えなくなりました。質量が変化しているか気になります。
- 生徒C：他の物質ではどうなるのか調べてみたいです。

子供が解決の方法を見通す

個に応じた見通しの支援

- 先生：なかなか見通しがもてない人は、物質を冷やして状態変化させた場合と、温めて状態変化させた場合について分けて考えてみましょう。

子供が課題解決まで試行錯誤を繰り返す、協働する

個での試行錯誤や協働の選択

- 先生：実験が終わった班は、実験結果をロイロノートの提出箱に提出してください。考察を書く際は、自分たちの班の結果だけでなく、他の班の結果も参考にしてみるといいですね。
- 先生：終わっている人もいますね。粒子のモデルを用いて、根拠をもとに理由付けて主張できるように考察を練り直してみてもうでしょう。

解決した課題の共有

- 先生：考察を班で発表し、意見交換しましょう。意見交換をした後、考えが変わった人は考えの変容を分かりやすくするために赤ペンで書き直しをしてみましょう。

学習内容を定着させるまとめ

- 先生：学習課題に対する本時のまとめを自分の言葉で書いてみましょう。

子供が自らの学びを振り返り、次に生かす

振り返り

- 先生：今日はどのようなことを学びましたか。これからどんなことを学習したいですか。（ICTで振り返りを集約し、可視化して、生徒が相互に共有できるようにする。）
- 生徒A：状態変化によって、質量は変化しないけど体積は変化することを粒子のモデルを用いて説明することができました。
- 生徒B：私は水が氷に状態変化する時、体積が大きくなると小学校で学んだので、今回の授業で説明できない水の状態変化について次は学びたいと思いました。

(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

徳之島町
教育委員会

中学校1年
数学科



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【思考力, 判断力, 表現力等】

日常生活や社会の事象における問題を, 作図を利用して解決することができる。

【学びに向かう力, 人間性等】

身の回りにある問題を解決するために, 作図を利用することに関心をもって取り組もうとする。

○ 工夫した点

- 主体的な学びを引き出すために, 興味関心を高めさせる学習問題を提示する。
- 解決の見通しをもたせるために, 導入段階での既習事項を確認する。
- 他者との対話的な考察を通して, 深い学びにつなげる。

今までの授業では…

【学習課題】 45° や 75° の角はどのように作図したらよいだろうか。

先生： 90° の角はどのように作図したらよかったですか？
 生徒A：垂線の作図や垂直二等分線を書いたらいいと思います。
 先生：それなら 45° はどのように作図しますか？
 生徒B： 90° を半分にしたらいいです。
 先生：それでは, 45° の角を作図してみましょう。

学習者主体で授業をデザインすると！

【学習課題】

宝物はどこに隠されているだろうか？

先生：3つの指令が届きました。さて, この指令に従って宝物を探しましょう。

生徒A：指令1の等しい距離は, 最初に解いた垂直二等分線だね。

解決の見通し (既習事項の活用)

生徒B：指令2の 75° の角は作ったことないけど… どうしたらいいのかな。

生徒が自ら課題を見付ける。

先生：指令2の 75° の角の作り方が宝探しのポイントだね。それでは, まずはみんなで 75° の作図方法を見つけてみよう。



(本時の学習目標の提示)

【学習目標】 75° の角はどのように作図したらいいだろうか？

個での試行錯誤や
協働の選択

先生：これまで学習してきた作図方法の中で活用できるのではないかな。

先生：うまくいかない場合は, 友達の考えを聞いてみたり, 友達と一緒に考えてみるのもいいですね。

生徒が課題解決まで試行錯誤を繰り返す, 協働する。

解決した課題共有

先生：(複数生徒の発表) 75° の作図方法もひとつではなく, いろんな方法がありますね。

新たな課題に気づき, 自ら取り組む姿

新たな課題発見
(学習意欲)

生徒C：指令3の最も近付くってどういうこと？今度はこの作図方法を考えよう。



(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

天城町
教育委員会

小学校4年
教科 社会科



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【知識及び技能】

奄美群島日本復帰に向けた人々の取組について、各種資料を基に必要な事実を読み取り、人々が日本復帰に向けて苦心しながらも一丸となって取り組んだことを理解することができる。

【思考力、判断力、表現力等】

人々の取組に着目して、問いを見だし、日本復帰運動の様子や人々の願いについて考え、表現することができる。

○ 工夫した点

- 児童の学習への興味・関心を高めるために、本小単元の地域の発展に尽くした先人の学習内容について、島外の事象ではなく、奄美群島の日本復帰運動に取り組んだ人々を取り扱う。
- 興味に応じて学習を進めたり、学び合いの必要性をもたせたりするために、追究する資料を選択できるように複数準備する。
- 児童が日本復帰運動の様子や人々の願いについて事実を総合的に考えて自らの考えを構築することができるようにするために、考えの理由を説明する活動を設定する。

今までの授業では…

1 これまでの学習内容について

【学習内容】先人の働き→【追究する事象】野井倉台地の開墾（志布志市）

徳之島に住む児童にとって、身近に感じにくい内容で、興味・関心をもちにくく、主体的に追究する姿を表出させることが難しかった。

2 これまでのめあての設定方法について

児童に問題意識をひきだすことができずに、教師がめあてを提案していた。

先生：日本復帰に向けて奄美群島の人々がどのようなことをしたのかについて調べていきましょう。めあては、どう書けばいいですか。

児童：日本復帰に向けて、奄美群島の人々はどのようなことをしたのだろうかです。

学習者主体で授業をデザインすると！

【追究する事象】奄美群島の日本復帰運動に取り組んだ人々（奄美群島の郷土教材）

【学習課題】

なぜ、奄美群島は日本復帰を果たすことができたのだろうか。

先生：この年表から読み取れることは何かな。
 児童A：1946年に奄美群島がアメリカに支配された。
 児童B：1952年に日本復帰を果たしている。

先生：前時の学習で、統治下でアメリカ軍に反発するとどうなると学習したかな。

児童C：逮捕される。児童B：牢屋に入れられる。

先生：そうだったね。では、ここまでの事実で何か疑問はありますか。

児童D：なぜ、日本復帰をすることができたのかな。

児童E：どうやって日本復帰したのかな。

先生：どうしてなのか予想をしてみよう。

児童F：戦争をして勝ったからじゃないかな。

児童A：人々が復帰運動を頑張ったからじゃないかな。

先生：じゃあ何に着目して調べていけばよさそうかな。

児童B：人々の取り組んだことを調べればいいよ。

先生：人々の取り組む様子について、これらの資料を基に事実を調べましょう。

1人でするか友達とするか、また、どの資料から調べるかは自分で決めていいよ。

(資料を基に調べる活動)

先生：全ての資料で調べることができましたか。

児童A：いいえ、終わりませんでした。児童B：1つ終わらなかったけれど、他は終わりました。

先生：では、友達と獲得した事実を交流してみましょう。

(事実共有の学び合い)

先生：では、これらの事実をまとめると、人々が何をしたら、日本復帰を果たすことができたと言えそうかな。自分の考えをノートに記述し、そのように考えた根拠となる事実に印をつけよう。

児童C：力を合わせて復帰運動に取り組んだからだと考えます。根拠は、署名した人々がほぼ全員だったことや皆で断食運動に取り組んだ事実です。

児童D：復帰運動に平和的に取り組んだからだと思います。根拠は、暴力にうったえることはしなかったことや何度も要望書を出した事実です。

児童E：人々があきらめず復帰運動に取り組んだからだと考えます。根拠は～。
先生：それでは、今日の学習を振り返りながら、今日学んだこと、次に生かしてみたいこと、もっと調べてみたいことをまとめておきましょう。

子供が自らの学びを振り返り、次に生かす

子供が自ら問いを発見する

年	出来事
1946年(77年前)	奄美群島がアメリカにせんりよ うされる
1953年(70年前)	奄美群島が日本にふつきする

子供が解決の方法を見通す

子供が課題解決まで試行錯誤を繰り返す、協働する

子供が課題解決まで試行錯誤を繰り返す、協働する

(様式 2)

「学習者主体の授業」実践例

伊仙町
教育委員会

小学校6年
理科



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【知識及び技能】

- 月の表面の様子を調べ、月の特徴を理解することができる。
- 日没直後の月の形と位置について調べ、月の形は日によって変わることができる。

【思考力, 判断力, 表現力等】

- モデル実験を通して、月の形が日によって変わって見える理由を考え、表現することができる。

○ 工夫した点

- 単元内自由進度学習を行うことで、主体的に学習に取り組む態度や学習を自己調整する力を育む。
- 個別と協働の指導過程を設定した授業デザインを行うことで、学習に対話や深まりをもたせる。

今までの授業では・・・

- 同じ内容を同じ方法で、同じペースを進める。
- 受け身で、教師の指示を待つ児童の姿。

先生:次は、教科書の〇〇ページを見て調べましょう。

児童 A:先生、たくさん見つけました。次は何ですか。

児童 B:先生、調べ終わりました。何をすればいいですか。

先生:ちょっと待っててね。

学習者主体で授業をデザインすると!

★ 教師はファシリテーター

① 決める⇒②めあてを立てる⇒③予想する【個】

先生:学習計画表を確認して、学習することを決めましょう。 子供が自ら課題を設定する。

学習内容	ワークシート	パワーポイント	キャラクター
1 ガイダンス 単元のめあて		「Navima」 □ 5-1-1 □ 5-1-2	「Z」 □ 5-1-3 □ 5-1-4
2 月の表面の様子を調べる。 【観察①】	5-2		□ 5-1-3 □ 5-1-4
3 日没直後の月の形と位置の変化 について調べる 【観察②】	5-3	「iq-board」 □ 月の見え方	「Z」 □ 5-1-3 □ 5-1-4
4 月の形が変わって見える理由を調べる。 【実験①】	5-4	「iq-board」 □ 月の形の変化 □ 月の形と位置の関係	「Z」 □ 5-1-3 □ 5-1-4
5	5-5	「Navima」 □ 5-1-1 □ 5-1-2 □ 5-1-3 □ 5-1-4	
6 単元のまとめ			

【学習計画表】

児童 A:月の表面が気になる。月の表面の様子について学習しようかな。

児童 B:昨日の月は半分が光っていたな。月の見え方について調べようかな。

先生:ロイロノートの提出箱に、自分で立てためあてを写真で提出しましょう。 友達のためあては見るができますよ。

児童 C:Aさんとめあてが似ているな。

子供が協働的な学びを見通す。

④ 調べる・考える【個】

子供が自身の課題解決まで試行錯誤を繰り返す。

先生:何を使って調べてもいいですよ。 ワークシートの二次元コードを読み取ると、資料にアクセスできますよ。 実験は隣の部屋でできます。

児童 B:実験が必要だ。隣の部屋で実験をしに行こう。



【検証をする児童】

先生:そろそろ、めあてを提出箱で確認して、友達と学習のまとめをつくりましょう。

児童 A:Cさんとめあてが似ている。一緒に話し合ってみよう。

⑥ ふりかえる【個】

子供が学習内容・事項を整理、確認する。

先生:「まとめチェック」プリントで学習内容を確認しましょう。

児童 A:クレーターという言葉が抜けていた。自分たちのまとめに付け加えておこう。

児童 B:やっぱり、月の位置関係が関係しているんだね。

先生:振り返りカードで今日の学習を振り返りましょう。

子供が自らの学びを振り返り、次に生かす。

(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

和泊町
教育委員会

中学校3年
保健体育



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【知識及び技能】

体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則など理解し、目的に適した運動の計画を立てて取り組むことができる。

【思考力、判断力、表現力等】

自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の組み合わせ方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。

【学びに向かう力、人間性等】

体づくり運動の学習に自主的に取り組み、互いに助け合い教え合おうとする。一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする。話し合いに貢献しようとするなど意欲をもち、健康安全を確保しようとする。

○ 工夫した点

- 生徒一人一人が体力テストの分析結果を基に自己の課題を明確にし、運動の実践につなげていく。
- 自己や仲間の課題を発見し、グループでの活動を通して自己や仲間の考えたことを他者に伝えることや助け合う、話し合う活動を行う。
- 学習した内容を実生活に生かす運動、生涯にわたって豊かなスポーツライフの実現のための「計画」「実行」「継続」につなげていく。

今までの授業では…

【学習課題】 自己の課題に応じた運動計画を作成しよう

- 先生：新体力テストの結果から、自分に合った運動計画を作成します。
先生：教科書や資料集からトレーニングメニューを見つけましょう。
生徒A：私は瞬発力が弱いから、下半身のトレーニングが自分に必要だと思います。
先生：次に、その運動をどのように実施するのか、計画を立てましょう。

学習者主体で授業をデザインすると！

【単元の学習課題】

自己や仲間の課題に応じて考えた運動を発表し、実生活に生かす運動計画を立て取り組むためにはどのようなことが大切だろうか。

【本時の学習課題】

自己や学級の課題に応じた運動計画を立てよう。

先生：体力テストの結果から見えてくる、自分や学級の課題は何でしょう。

生徒A：個人的には柔軟性が弱い。
生徒B：全体としては瞬発力に課題があるね。

先生：この課題を解決するために、**授業でやりたいことは何ですか。**
生徒A：自分の課題もですが、全体の課題も解決したいです。

子供が解決の方法を見通す

先生：各グループで考えたトレーニング法を、全体に発表してもらいます。練習や発表の仕方について確認しましょう。

〔個〕
見通しの支援

生徒A：柔軟性を高めるために、こんなトレーニングが紹介されていたけどどうかな。

生徒B：運動が苦手な人には少し難しいかもしれないね。

生徒A：それなら、誰にでもできるように工夫してみよう。

〔グループ〕
試行錯誤や協働の選択

子供が課題解決まで試行錯誤を繰り返す、協働する

先生：全体の発表を聞いてどのようなことを感じましたか。
生徒A：1班のトレーニングは、全体の課題を解決できるようになってとても参考になりました。

生徒B：2班のトレーニングは、全体的に易しかったので、腕立て伏せの腕の幅を拡げるなどの負荷をかけるといいと思いました。

〔全体〕
全体共有

先生：今日の授業を今後につなげて行くにはどのようなことが大切だと思いますか。

生徒A：今日のトレーニング方法を自分に合ったものに改善し、毎日10分のトレーニングを続けていきたいです。

生徒B：家族の課題も見つけて、家族が健康を維持していくためのトレーニングを見つけて実践していきたいです。

〔全体〕
振り返り

子供が自らの学びを振り返り、次に生かす

子供が自ら課題を発見する

【練習、発表の仕方のポイント】

- どのようなことを意識するのか体の動かし方、意識するポイント
- 運動のねらい、目的
- 相手に分かりやすく伝えるためには誰が発表、誰が模範演技する、動きのつなぎ
- 音楽、手拍子、足踏み、などなど

【課題解決に向けたポイントの提示】

(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

知名町
教育委員会

小学校3年
体育科



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【知識及び技能】

回転系や技巧系の基本的な技をすることができる（前転や後転、かべ倒立）。

【思考力、判断力、表現力等】

自己の能力に適した課題を見付け、技ができるようになるための活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができる。

○ 工夫した点

- 学習のゴールを「自分たちが選んだ歌に合わせてグループ演技をしよう」に設定した。「グループで演技をする」という意識で活動に取り組ませた。
- グループ演技を課題として設定することで、得意な児童は苦手な児童に分かりやすく教える方法を考えたり、苦手な児童は自分のできる技を歌のどの部分で表現するのかを考えたりすることができた。

今までの授業では…

【学習課題】

自分のできる技を見つけ、できない技をできるように練習しよう。

授業者：できない技を練習
しましょう。

児童A：ぼくは習った技が
すべてできるけど、
何をすればいいん
だろう。

児童B：どの技もできない。
もうしたくない。

学習者主体で授業をデザインすると！

【学習課題】

自分たちが選んだ歌に合わせ
てグループ演技をしよう。



【演技の構成をグループで考える児童の様子】



【動画を見て、改善案を考える児童の様子】



【見る人が楽しめるよう
工夫した演技を練習する児童の様子】

先 生：グループ発表では、どの部分をお勧めポイント
としますか。

児童A：歌のリズムに合わせた回転技を見てもらいたい
な。

児童B：2方向から同時に演技をしてみよう。

児童C：グループみんなで同時に技を見せたいな。

先 生：今話し合ったことを意識して演技の練習をして
みましょう。

○子供が自ら問いを発見する
○子供が解決の方法を見通す

○ グループで互いに技を教え合う

例：後転の時は、お尻・背中・頭の順番でマットについ
て、最後にマットを手で押すといいよ。

○ 苦手な子どもでも活躍できる演技構成を話し合う

例：みんなができる、だるま転がりや前転を中心に構成
を考えよう。

○ 見ている人が楽しめるよう、空間を意識した演技構
成を考える

例：マットを4枚使って、前方と後方からクロスするよ
うに、前転や後転をしてみよう。歌のサビに入ると
きに、みんなで同時に前転をしよう。

○ 歌に合わせて演技を考えることで、楽しい雰囲気
で学習する

○子供が課題解決まで試行錯誤を繰り返す、協働する

先 生：それでは、今日の学習を振り返りながら、今日
考えたこと、次の時間に練習したいこと、演技
に取り入れてみたことなどを話し合ひましょう。

○子供が自らの学びを振り返り、次に生かす

【児童の毎時間の感想から】

- ・ 友達と話し合って演技を考えるから楽しい。
- ・ 楽しいのに、すごく疲れる。たくさん動ける。
- ・ 音楽があるとやる気が出る。
- ・ 演技を見てもらうから、いいものを創りたい。

(様式2)

「学習者主体の授業」実践例

与論町
教育委員会

中学校1年
社会科



○ 本実践例の授業で育成をめざす資質・能力

【知識及び技能】

アメリカ合衆国の大規模で合理的な農業の特色を、写真や分布図などから読み取ることができる。

【思考力、判断力、表現力等】

アメリカ合衆国が多様な農産物を大量に生産できる理由を、気候、交通網、農業経営の仕方などの視点から考察し、説明することができる。

○ 工夫した点

- 身近な話題を視覚的に提示し、「アメリカの農業の特徴について調べたい」という意欲をもたせる。
- 気候・交通網・農業経営の仕方の3つの資料のうち一つを選択して読み取らせる。その後、他の資料を読み取った生徒と「資料から分かったこと」を共有させることにより、3人の知識の統合・深化を図る。



今までの授業では…

【学習課題】 アメリカの農業にはどのような特色があるのでしょうか。

特色の一つとして挙げられている「適地適作」とはどういうことでしょうか。資料を基に説明してください。……そうですね。Aさん、ありがとう。

次に、この図と、この写真から分かることを考え、発表してください。……そうですね。Bさんが発表してくれたような農業のことを、「企業的な農業」といい、これも特色の一つです。

生徒に思考・表現させてはいるが、一斉・一律・一方向になってしまっている。

学習者主体で授業をデザインすると！

子供が自ら問いを発見する

生徒A：なぜ、アメリカの農産物はこんなにも安いのかな。

生徒B：アメリカから日本への輸送費もかなりかかっているはずなのに、それでも安いのはなぜだろう。

先生：アメリカの農業には、日本の農業とは異なる特色がありそうだね。



【学習課題】 なぜ、アメリカの農産物の価格は安いのだろうか。

子供が解決の方法を見通す

先生：ここに3種類の資料があります。このうち、どれか一つを切り口に、アメリカの農業について、じっくりと調べてみましょう。 GoogleClassroomには、それぞれの関連資料も掲載していますよ。

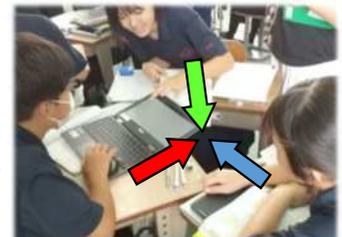


子供が課題解決まで試行錯誤を繰り返す、協働する

先生：それぞれの資料で分かったことを持ち寄れば、農産物の価格の安さの秘密にたどり着けるでしょう。

生徒B：私の資料では、西側のこの地域に、降水量の多さを生かして広大な畑が作られていることが分かったよ。

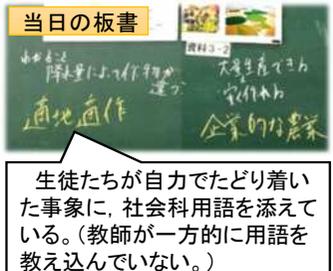
生徒C：あ、ぼくの資料を見て。その地域から都市部に向かって何本もの線路が敷かれている。この鉄道を使えば、農作物の大量輸送ができそうだ。



子供が自らの学びを振り返り、次に生かす

先生：Bさんが今気付いたその特徴は「適地適作」と呼ばれています。本時の学習をまとめる際は、その用語も使うとよいですね。

生徒D：3人の気づきをまとめると、「企業的な農業による適地適作や、大量輸送の仕組みにより、価格を安く抑えることができています」と言えそうだね。



生徒たちが自力でたどり着いた事象に、社会科用語を添えている。(教師が一方向的に用語を教え込んでいない。)